

(案)

ベンゾビシクロン 農薬使用者安全評価書

2026年2月5日

農業資材審議会農薬分科会

農薬使用者安全評価部会

目 次

<経緯>	2
<農薬使用者安全評価部会出席者名簿> (第 23 回)	2
I. 評価対象農薬の概要	3
1. 有効成分の概要	3
2. 有効成分の物理的・化学的性状.....	4
3. 申請に係る情報.....	5
4. 作用機作	5
5. 適用病虫害雑草等の範囲及び使用方法	5
II. 安全性に係る試験の概要	6
1. 経口吸収率.....	6
2. 毒性試験の結果概要	9
3. 公表文献における研究結果 (資料 49、50)	10
III. 農薬使用者暴露許容量 (AOEL)	12
IV. 急性農薬使用者暴露許容量 (AAOEL)	16
V. 暴露量の推計	17
1. 経皮吸収試験	17
2. 圃場における農薬使用者暴露	17
3. 暴露量の推計	17
VI. リスク評価結果	17
評価資料	18

<経緯>

令和6年（2024年）5月23日	農業資材審議会への諮問（再評価）
令和8年（2026年）2月 5日	農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全 評価部会（第23回）

<農薬使用者安全評価部会出席者名簿>（第23回）

（委員）

櫻井 裕之

美谷島 克宏

（臨時委員）

天野 昭子

（専門委員）

相崎 健一

アイツバマイ ゆふ

石井 雄二

上島 通浩

成田 伊都美

元村 淳子

（専門参考人）

小坂 忠司

ベンゾビシクロン

I. 評価対象農薬の概要

1. 有効成分の概要

1.1 申請者 株式会社エス・ディー・エス バイオテック

1.2 登録名 ベンゾビシクロン
3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン

1.3 一般名 benzobicyclon (ISO)

1.4 化学名

IUPAC 名 : 3-(2-chloro-4-mesylbenzoyl)-2-phenylthiobicyclo[3.2.1]oct-2-en-4-one

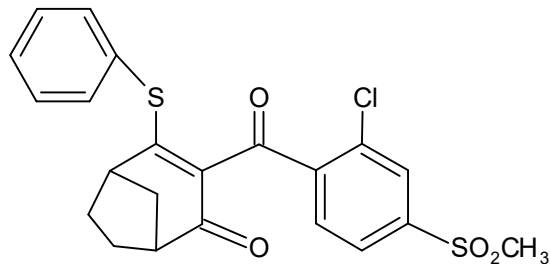
CAS 名 : 3-[2-chloro-4-(methylsulfonyl)benzoyl]-4-(phenylthio)bicyclo[3.2.1]oct-3-en-2-one
(CAS No. 156963-66-5)

1.5 コード番号 SB-500

1.6 分子式、構造式、分子量

分子式 $C_{22}H_{19}ClO_4S_2$

構造式



分子量 446.96

2. 有効成分の物理的・化学的性状

試験項目	純度 (%)	試験方法	試験結果	
蒸気圧	99.2	OECD 104 蒸気圧天秤法	$<5.6 \times 10^{-5}$ Pa (25 °C)	
融点	99.2	OECD 102 DSC法	187.3 °C	
沸点	99.2	OECD 103 TG-DTA法	200 °C以上で分解	
熱安定性	99.2	OECD 113 DSC法	20~150 °Cで安定	
溶解度 有機溶媒	水	OECD 105 カラム溶出法	51.8 µg/L (20 °C、pH 6)	
	ヘキサン	99.2	91/414/EEC フラスコ法	<0.12 g/L (20 °C)
	ヘプタン			<0.24 g/L (20 °C)
	キシレン			0.53 g/L (20 °C)
	トルエン			1.2 g/L (20 °C)
	ジクロロメタン			144 g/L (20 °C)
	アセトン			9.3 g/L (20 °C)
	メタノール			0.39 g/L (20 °C)
	エタノール			0.19 g/L (20 °C)
	オクタノール			0.05 g/L (20 °C)
	酢酸エチル			2.6 g/L (20 °C)
解離定数 (pK _a)	99.2			OECD 112 滴定法
<i>n</i> -オクタノール/水分配係数 (log P _{ow})	99.2	OECD 117 HPLC法	3.1 (20 °C)	
加水分解性	99.2	OECD 111	半減期 17.8 時間 (24.9 °C、3.0~32 時間、pH 4) 半減期 16.5 時間 (24.9 °C、3.0~28 時間、pH 7) 半減期 12.3 時間 (24.9 °C、2.3~28 時間、pH 9)	
水中光分解性	100	9農産第5089号	半減期16.6時間 (pH 6.6、25±1 °C、17.1及び144 W/m ² 、290~400及び290~800 nm)	
紫外可視吸収 (UV/VIS) スペクトル	99.2	極大吸収波長 (nm)	吸光度	モル吸光係数 (L mol ⁻¹ cm ⁻¹)
		中性		
		322.8	0.5056	18900
		酸性		
		323.6	0.5070	18900
		アルカリ性		
261.8	0.9759	36400		

3. 申請に係る情報

令和 5 年（2023 年）5 月 30 日から 6 月 29 日に、再評価を受けるべき者から農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）第 8 条第 3 項に基づく試験成績等を受理した。

ベンゾビシクロンは、令和 8 年（2026 年）2 月現在、米国、韓国、中国等で登録されている。

4. 作用機作

ベンゾビシクロンはプラストキノン生合成経路の 4-HPPD を阻害することにより、間接的にカロチノイド生合成の停止を伴うクロロフィル量の減少を引き起こし、除草効果を発現すると考えられている。

(HRAC 分類：27*)

※参照：<https://www.hracglobal.com/>

5. 適用病虫害雑草等の範囲及び使用方法

評価対象となるベンゾビシクロンを含有する農薬 137 製剤について、適用病虫害雑草等の範囲及び使用方法を別添 1 に示す。

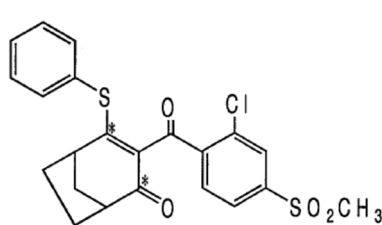
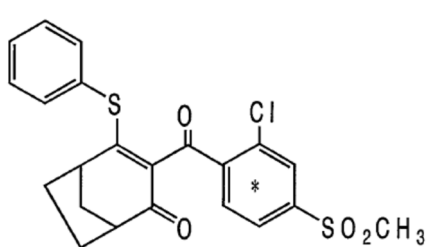
II. 安全性に係る試験の概要

ベンゾビシクロンは、令和 8 年（2026 年）1 月 22 日、内閣府食品安全委員会において、食品健康影響評価（資料 1）がなされている。食品安全委員会では、評価に用いた試験成績において、過去のテストガイドラインに基づき実施されている試験も確認されたが、ベンゾビシクロンの代謝・毒性プロファイルを適切に把握できることから、評価は可能と判断されている。

1. 経口吸収率

ベンゾビシクロンのビシクロオクテン環の 2 及び 4 位の炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「[bic- ^{14}C]ベンゾビシクロン」という。）並びにベンゾイル骨格のベンゼン環の炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「[ben- ^{14}C]ベンゾビシクロン」という。）（表 1）を用いた動物代謝試験による動物体内への吸収率（経口吸収率及び血中濃度推移）の概要をまとめた。

表 1 標識化合物

略称	[bic- ^{14}C]ベンゾビシクロン	[ben- ^{14}C]ベンゾビシクロン
構造式		
標識位置	ビシクロオクテン環の2及び4位の炭素を ^{14}C で標識	ベンゾイル骨格のベンゼン環の炭素を ^{14}C で標識

① 尿及び糞中排泄（単回経口）（資料 2、GLP）

SD ラットに（一群雌雄各 5 匹）に [bic- ^{14}C]ベンゾビシクロン又は [ben- ^{14}C]ベンゾビシクロンを 10 mg/kg 体重（以下「低用量」という。）又は 500 mg/kg 体重（以下「高用量」という。）で単回経口投与して、排泄試験が実施された。

尿及び糞中排泄率は表 2 に示されている。

投与放射能は主に糞中に排泄され、投与後 96 時間以内に 91.0%TAR 以上が排泄された。尿中への排泄率は高用量群では低用量群よりも低かった。排泄経路及び排泄速度に性差及び標識位置による差は認められなかった。

表 2 投与後 96 時間の尿及び糞中排泄率 (%TAR)

標識体	[bic- ¹⁴ C]ベンゾビシクロン				[ben- ¹⁴ C]ベンゾビシクロン			
	10 mg/kg 体重		500 mg/kg 体重		10 mg/kg 体重		500 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌
尿	2.74	2.38	0.65	0.58	2.08	1.68	0.53	0.59
糞	96.1	95.5	96.9	99.3	91.0	92.4	96.4	95.0
ケージ洗浄液	0.05	0.02	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01	0.03
カーカス ^a	1.03	1.02	0.07	0.05	0.93	0.73	<0.12	<0.12
消化管 (内容物を含む)	0.10	0.07	0.01	0.02				
経口吸収率 ^b	3.82	3.42	0.73	0.65	2.11	1.71	0.54	0.62
総回収率	99.9	98.9	97.6	100	94.0	94.8	97.1	95.7

表の値は 5 匹の平均値

a: [ben-¹⁴C]ベンゾビシクロンについては消化管 (内容物を含む) を含めた値

b: [bic-¹⁴C]ベンゾビシクロンについては尿、ケージ洗浄液及びカーカスの合計、[ben-¹⁴C]ベンゾビシクロンについては尿及びケージ洗浄液の合計

② 胆汁中排泄 (資料 2、GLP)

胆管カニュレーション処理した SD ラット (一群雌雄各 3 匹) に [bic-¹⁴C]ベンゾビシクロンを低用量若しくは高用量又は [ben-¹⁴C]ベンゾビシクロンを低用量で単回経口投与し、胆汁排泄試験が実施された。

投与後 48 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率は表 3 に示されている。

低用量群における投与後 48 時間までの胆汁中への排泄は雄で 7.45%TAR~11.6%TAR、雌で 6.24%TAR~14.2%TAR、尿中への排泄は雄で 2.35%TAR~4.14%TAR、雌で 2.67%TAR~9.80%TAR、糞中への排泄は雄で 74.3%TAR~81.5%TAR、雌で 73.4%TAR~80.7%TAR であった。雌雄及び標識位置による差は認められなかった。

高用量群では 93.9%TAR~111%TAR が排泄され、糞中での排泄率が低用量群より高くなる傾向がみられた。投与後 48 時間までの胆汁中への排泄は雄で 1.78%TAR、雌で 1.51%TAR、尿中への排泄は雄で 0.77%TAR、雌で 1.03%TAR、糞中への排泄は雄で 90.1%TAR、雌で 106%TAR であった。雌雄及び標識位置による差は認められなかった。

本試験より得られた胆汁、尿及びケージ洗浄液の合計より、単回投与後 48 時間の吸収率は、[bic-¹⁴C]ベンゾビシクロンの低用量群で 8.91~9.80%、高用量群で 2.54~2.55%、[ben-¹⁴C]ベンゾビシクロンの低用量群で 15.7~24.0% であると算出された。なお、カーカスについては消化管内容物が含まれており、吸収されたか不明であったため、吸収率の計算には含めなかった。

表 3 投与後 48 時間の胆汁、尿及び糞中排泄率 (%TAR)

標識体	[bic- ¹⁴ C]ベンゾピシクロン				[ben- ¹⁴ C]ベンゾピシクロン	
	10 mg/kg 体重		500 mg/kg 体重		10 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌
胆汁	7.45	6.24	1.78	1.51	11.6	14.2
尿	2.28	2.33	0.71	0.95	3.84	9.54
糞	81.5	80.7	90.1	106	74.3	73.4
カーカス ^a	1.74	2.43	1.25	2.14	2.58	3.88
ケージ洗浄液	0.07	0.34	0.06	0.08	0.30	0.26
経口吸収率 ^b	9.80	8.91	2.55	2.54	15.7	24.0
総回収率	93.0	92.0	93.9	111	92.6	101

表の値は 3 匹の平均値

a : 消化管 (内容物を含む) を含めた値

b : 胆汁、尿及びケージ洗浄液の合計

2. 毒性試験の結果概要

各種毒性試験（資料 2～48）の結果は、資料 1（食品安全委員会農薬評価書）の II.安全性に係る試験の概要を参照した。

ベンゾビシクロンの急性経口毒性試験の LD₅₀ はラット及びマウスで >5,000 mg/kg 体重であった。経皮、吸入のいずれの投与経路においても急性毒性は弱く（LD₅₀（経皮）：>2,000 mg/kg 体重、LC₅₀（吸入）：>2.72 mg/L）、眼刺激性、皮膚刺激性及び皮膚感作性は認められなかった。

ベンゾビシクロン投与による影響は、主に肝臓（重量増加、T.Chol 増加等）及び腎臓（重量増加：ラット）に認められた。発がん性、神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

食品安全委員会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間反復経口投与毒性/発がん性併合試験の 3.43 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.034 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、ベンゾビシクロンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。

3. 公表文献における研究結果（資料 50、51）

表 4 に示すデータベース [Web of Science (Core Collection) 及び J-STAGE] を用いて、それぞれ 2007 年 10 月 1 日～2022 年 10 月 4 日、2007 年 10 月 1 日～2022 年 10 月 4 日を検索対象期間として、有効成分名及びベンゾビシクロンを含む製剤名をキーワードとして公表文献を検索し、評価対象となる影響、評価対象の生物種等についてガイドライン¹で定めるキーワードで絞り込みが行われた。

Web of Science (Core Collection) を用いた場合、全文に基づく適合性評価の対象となったヒトに対する毒性の分野（動物を用いた研究、疫学研究等）に該当するとして収集された公表文献 8 報のうち、評価の目的と適合するものはないと判断した。

J-STAGE を用いた場合、全文に基づく適合性評価の対象となるヒトに対する毒性の分野（動物を用いた研究、疫学研究等）に該当するとして収集された公表文献 15 報のうち、評価の目的と適合するものはないと判断した。

また、ベンゾビシクロンは、欧州のリスク評価機関で評価されておらず、JMPR による評価も行われていない。米国のリスク評価機関では評価されており、USEPA の評価書を確認した結果、ヒトに対する毒性の分野（動物を用いた研究、疫学研究等）に該当する公表文献は 2 報引用されていた。

なお、公表文献に関する情報募集（令和 6 年 3 月 29 日～4 月 27 日）で寄せられた情報はない。

評価目的との適合性等の観点から、海外評価書に引用された 2 報について、さらに本部会で検討²した結果、評価に使用する公表文献はないと判断した。

¹ 公表文献の収集、選択等のためのガイドライン（令和 3 年 9 月 22 日 農業資材審議会農薬分科会決定、令和 5 年 7 月 27 日一部改正）

² 「農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会での公表文献の取扱いについて（令和 4 年 9 月 2 日 農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会決定）」に基づく検討。

表 4 ベンゾビシクロンに関する公表文献の検索結果

データベース名	Web of Science(Core Collection) ^a
検索対象期間	2007/10/1～2022/10/4
検索結果	
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	52
ヒトに対する毒性の分野の論文数	8*
全文に基づく適合性評価の対象となったヒトに対する毒性の分野の論文数	0
全文に基づく適合性評価の結果、評価の目的と適合するとした文献数	0
評価に用いた文献数	0
データベース名	J-STAGE
検索対象期間	2007/10/1～2022/10/4
検索結果	
対象とする農薬名で検索抽出した総論文数	38
ヒトに対する毒性の分野の論文数	15*
全文に基づく適合性評価の対象となったヒトに対する毒性の分野の論文数	1
全文に基づく適合性評価の結果、評価の目的と適合するとした文献数	0
評価に用いた文献数	0
調査対象とした海外評価書	USEPA評価書 ^b
評価書に引用されたヒトに対する毒性の分野の文献数	2
評価に用いた文献数	0

* : 他の評価分野との重複あり

a : 令和 5 年 7 月に文献ガイドラインが一部改正されたため、改正後の文献ガイドラインに照らし、追加で Web of Science (Core Collection) を用いた収集を実施。

b : 調査対象とした評価書は下記

- ・ USEPA (2021): Benzobicyclon: Section 3 Risk Assessment for Proposed New Formulation, Increase to the Established Tolerance, and National Use Expansion on Rice.

Ⅲ. 農薬使用者暴露許容量 (AOEL)

急性毒性試験の結果において、経皮又は吸入経路特異的な毒性は見られなかったこと及び農薬としての使用方法から、ベンゾビシクロンの農薬使用者暴露許容量 (AOEL) の設定に当たっては、経皮又は吸入経路特異的な毒性を考慮する必要はないと判断した。よって経口投与による短期毒性試験、生殖・発生毒性試験及び神経毒性試験の結果に基づき AOEL を設定する (表 6)。

各試験で得られたベンゾビシクロンの無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験の雄における無毒性量 5.73 mg/kg 体重/日であり、これを AOEL の設定根拠とすることが妥当と判断した。

また、最小の無毒性量に近い投与量におけるラットを用いた動物代謝試験の経口吸収率は、胆汁中排泄試験の 10 mg/kg 体重投与群の 8.91~24.0%であった (表 5)。胆汁中代謝物は標識体によって顕著な差がなく、その他の尿・糞中排泄試験の結果においても供試動物の性別や標識体による顕著な違いはなく、いずれの総回収率も 90%を超え十分に高いことから、AOEL 設定に当たっては、胆汁中排泄試験の雌雄の経口吸収率の算術平均である 14.6%を用いて補正することが妥当であると判断した。

表 5 ベンゾビシクロンを単回経口投与した場合の経口吸収率 (%)

標識体	[bic- ¹⁴ C]ベンゾビシクロン		[ben- ¹⁴ C]ベンゾビシクロン	
投与群	10 mg/kg 体重		10 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌
経口吸収率	9.80	8.91	15.7	24.0
総回収率	93.0	92.0	92.6	101

表の値は投与後 48 時間の 3 匹の平均値

以上の結果から、ラットを用いた 90 日間反復経口投与毒性試験の無毒性量 5.73 mg/kg 体重/日を経口吸収率 14.6%により補正し、安全係数 100 で除した 0.0084 mg/kg 体重/日を農薬使用者暴露許容量 (AOEL) と設定した。

AOEL 0.0084 mg/kg 体重/日

(AOEL 設定根拠試験)	90 日間反復経口投与毒性試験
(動物種)	ラット
(期間)	90 日間
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	5.73 mg/kg 体重/日

(毒性所見)	雄：RBC減少等
(安全係数)	100
(経口吸収率)	14.6% (ラット)

<参考>

<EFSA (2025年)>

AOEL 0.6 mg/kg 体重/日

(AOEL 設定根拠試験)	2世代繁殖毒性試験
(動物種)	ラット
(投与方法)	混餌
(無毒性量)	1,176 mg/kg 体重/日
(安全係数)	100
(経口吸収率)	5%

Conclusion regarding the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance benzobicyclon

(URL : <https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2025.9703>)

表 6 AOEL の設定に関連する毒性影響等

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	NOAEL (mg/kg 体重/ 日)	LOAEL (mg/kg 体重/ 日)	AOEL 設定に関連する エンドポイント*
ラット	90 日間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 14)	雄：0、20、100、400 ppm 雌：0、100、400、2,000、 10,000 ppm 雄：0、1.13、5.73、22.7 雌：0、6.29、25.2、126、630	雄：5.73 雌：126	雄：22.7 雌：630	雄：RBC 減少等 雌：腎絶対及び比重量増加
	90 日間 反復経口 投与神経毒 性 GLP (資料 32)	雌雄：0、1,000、5,000、 20,000 ppm 雄：0、62、306、1,290 雌：0、72、374、1,500	雄：1,290 雌：1,500	-	神経毒性は認められなかった。
	2 世代 繁殖毒性 GLP (資料 28)	雌雄：0、100、1,000、 20,000 ppm P 雄：0、6.38、63.6、1,320 P 雌：0、7.07、72.1、1,470 F ₁ 雄：0、7.46、73.3、1,530 F ₁ 雌：0、7.75、77.5、1,640	親動物： P 雄：63.6 P 雌：72.1 F ₁ 雄：73.3 F ₁ 雌：77.5 児動物： P 雄：1,320 P 雌：1,470 F ₁ 雄：1,530 F ₁ 雌：1,640	親動物： P 雄：1,320 P 雌：1,470 F ₁ 雄：1,530 F ₁ 雌：1,640 児動物： -	親動物 雄：腎絶対重量増加、下垂体の 好塩基性細胞水腫性変化の増 加等 雌：腎絶対重量増加、副腎絶対 及び比重量増加等 児動物：毒性所見なし 繁殖能に対する影響は認められ なかった。
	発生毒性 GLP (資料 29)	0、40、200、1,000 (妊娠 6～15 日投与)	母動物：1,000 胎 児：1,000	-	母動物及び胎児：毒性所見なし 催奇形性は認められなかった。
マウス	90 日間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 26)	0、3,000、10,000、30,000 ppm 雄：503、1,690、4,930 雌：684、2,140、6,340	雄：1,690 雌：2,140	雄：4,930 雌：6,340	雌雄：肝絶対及び比重量増加等
	18 か月間 発がん性 試験 GLP (資料 27)	0、300、3,000、30,000 ppm 雄：0、37、373、3,820 雌：0、45、473、4,810	雄：373 雌：473	雄：3,820 雌：4,810	雌雄：小葉中心性肝細胞肥大等 発がん性は認められなかった。
ウサギ	発生毒性① GLP (資料 30)	0、40、200、1,000 (妊娠 6～18 日投与)	母動物：1,000 胎 児：1,000	-	母動物及び胎児：毒性所見なし 催奇形性は認められなかった。
	発生毒性② GLP (資料 31)	0、111、333、1,000 (妊娠 6～27 日投与)	母動物：1,000 胎 児：1,000	-	母動物及び胎児：毒性所見なし 催奇形性は認められなかった。
イヌ	90 日間 反復経口 投与毒性 GLP (資料 14)	雌雄：0、20、200、2,000	雌雄：2,000	-	毒性所見なし
	1 年間 反復経口	雌雄：0、10、100、1,000	雌雄：1,000	-	毒性所見なし

	投与毒性 GLP (資料 15)				
--	------------------------	--	--	--	--

*：最小毒性量で認められた主な毒性所見を示す。

IV. 急性農薬使用者暴露許容量 (AAOEL)

ベンゾビシクロンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響は認められなかったことから、急性農薬使用者暴露許容量 (AAOEL) は設定する必要がないと判断した。

AAOEL

設定の必要なし

<参考>

<EFSA (2025 年) >

AAOEL

設定の必要なし

Conclusion regarding the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance benzobicyclon

(URL : <https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2025.9703>)

V. 暴露量の推計

1. 経皮吸収試験

ベンゾビシクロンを含有する農薬製剤で実施した経皮吸収試験結果は提出されていない。

2. 圃場における農薬使用者暴露

ベンゾビシクロンを含有する農薬製剤で実施した圃場における農薬使用者暴露試験結果は提出されていない。

3. 暴露量の推計

申請された製剤について、I. の5. 適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法（別添1）に従って使用した場合の暴露量を予測式により推計した。

推計に当たっては、「農薬使用者への影響評価ガイダンス」及び「予測式に分類していない使用方法についての使用者安全確保の考え方」（令和4年12月1日農業資材審議会農薬分科会農薬使用者安全評価部会決定、令和6年10月24日最終改訂）（以下「部会決定」という。）に準拠した。

推計に用いたパラメータ等及び暴露量の推計結果を別添2に示す。

VI. リスク評価結果

I. の5. 適用病害虫雑草等の範囲及び使用方法（別添1）に従って使用した場合の暴露量は、AOELを下回っていた（別添2）。

評価資料

資料番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
1	2025	農薬評価書 ベンゾビスクロン（第2版） 食品安全委員会、公表 URL： https://www.fsc.go.jp/fscis/attachedFile/download?retrievalId=kya20240724093&fileId=210
2	1999	SAN 1315 H METABOLISM IN THE RAT GLP、未公表
3	1995	SAN1315H のラットを用いた経口投与による急性毒性試験 GLP、未公表
4	1995	SAN1315H のマウスを用いた経口投与による急性毒性試験 GLP、未公表
5	1995	SAN1315H のラットを用いた経皮投与による急性毒性試験 GLP、未公表
6	2015	Acute Dermal Toxicity Study of Benzobicyclon in Albino Rats GLP、未公表
7	1997	SAN 1315 H ACUTE INHALATION TOXOCITY IN RATS 4-HOUR EXPOSURE GLP、未公表
8	1995	SAN1315H のウサギを用いた皮膚一次刺激性試験 GLP、未公表
9	2015	Acute Dermal Irritation Study of Benzobicyclon Albino Rabbits GLP、未公表
10	1995	SAN1315H のウサギを用いた眼一次刺激性試験 GLP、未公表
11	1995	SAN1315H のモルモットを用いた皮膚感作性試験 GLP、未公表
12	1998	SAN1315H のモルモットを用いた皮膚感作性試験(Maximization Test) GLP、未公表
13	2015	ASSESSMENT OF SKIN SENSITIZATION TO BENZOBICYCLON TECHNICAL IN THE MOUSE (LOCAL LYMPH NODE ASSAY) GLP、未公表
14	1999	SAN 1315 H のラットにおける 90 日間経口亜急性毒性試験（4 週間回復試験を含む） GLP、未公表
15	1998	SAN 1315 H のビーグル犬を用いた 13 週間反復経口投与による亜急性毒性試験 GLP、未公表
16	2012	A 21-Day Dermal Toxicity Study of Benzobicyclon in New Zealand White Rabbits GLP、未公表
17	1999	SAN 1315 H のビーグル犬を用いた 52 週間反復経口投与による慢性毒性試験 GLP、未公表
18	1994	SAN 1315H 原体の細菌を用いた復帰変異試験 GLP、未公表
19	1996	SAN 1315H のチャイニーズ・ハムスター培養細胞を用いる染色体異常試験 GLP、未公表

資料 番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
20	2016	Benzobicyclon: CELL MUTATION ASSAY AT THE THYMIDINE KINASE LOCUS (TK+/-) IN MOUSE LYMPHOMA L5178Y CELLS GLP、未公表
21	1996	SAN 1315Hのマウスを用いる小核試験 GLP、未公表
22	2016	Benzobicyclon: MICRONUCLEUS ASSAY IN BONE MARROW CELLS OF THE MOUSE GLP、未公表
23	1994	SAN 1315H 原体の細菌を用いた DNA 修復試験(Rec-assay) GLP、未公表
24	1999	SAN 1315 H のラットにおける 24 ヶ月間経口慢性毒性・発癌性試験 GLP、未公表
25	2007	SAN 1315 H のラット 24 ヶ月間経口慢性毒性・発癌性試験の $\alpha 2\mu$ グロブリン免疫組織染色検査 非 GLP、未公表
26	1998	SAN 1315 H TOXICITY TO MICE BY DIETARY ADMINISTRATION FOR 13 WEEKS GLP、未公表
27	1999	SAN 1315 H CARCINOGENICITY STUDY BY DIETARY ADMINISTRATION TO CD-1 MICE FOR 78 WEEKS GLP、未公表
28	1999	SAN 1315 H のラットにおける繁殖試験 GLP、未公表
29	1997	SAN 1315 H ORAL (GAVAGE) TERATOGENICITY STUDY IN THE RAT GLP、未公表
30	1998	SAN 1315 H Oral (Gavage) Teratogenicity Study in the Rabbit GLP、未公表
31	2022	Benzobicyclon Technical - Oral (Gavage) Prenatal Developmental Toxicity Study in the Rabbit GLP、未公表
32	2012	Oral (Diet) Subchronic Neurotoxicity Study of Benzobicyclon in Rats GLP、未公表
33	2012	A 28-Day Immunotoxicity Study of Benzobicyclon by Diet in Rats GLP、未公表
34	2022	GWN-8001: H295R Steroidogenesis Assay GLP、未公表
35	2021	GWN-8001: Aromatase (Human Recombinant) Assay GLP、未公表
36	2022	Benzobicyclon Tech: Repeat Dose Range Finding in Sprague Dawley Rats (Oral Gavage Administration) 非 GLP、未公表
37	2022	GWN-8001: OECD 441 Hershberger Bioassay in Sprague Dawley rats (Oral Gavage Administration) GLP、未公表
38	2022	GWN-8001: OECD 440 Uterotrophic Bioassay in Ovariectomized rats (Oral Gavage Administration) GLP、未公表

資料 番号	報告年	表題、出典（試験施設以外の場合） GLP 適合状況（必要な場合）、公表の有無
39	2021	Range Finder Study for the In Vivo Pubertal Assays for Benzobicyclon 非 GLP、未公表
40	2022	Pubertal Development and Thyroid Function with Benzobicyclon in Juvenile/Peripubertal CRL:CD (SD) IGS Female and Male Rats GLP、未公表
41	2016	Benzobicyclon:CYTOTOXICITY ASSAY <i>IN VITRO</i> WITH BALB/c 3T3 CELLS: NEUTRAL RED (NR) TEST DURING SIMULTANEOUS IRRADIATION WITH ARTIFICIAL SUNLIGHT GLP、未公表
42	1997	SAN 1315 H IRWIN DOSE-RANGE STUDY (+ BODY TEMPERATURE) (oral administration) GLP、未公表
43	1997	SAN 1315 H CARDIOVASCULAR AND RESPIRATORY EVALUATION IN THE ANAESTHETISED RAT (Intravenous administration) GLP、未公表
44	1997	SAN 1315 H AN ASSESSMENT OF THE EFFECTS ON THE AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM IN THE ANAESTHETISED CAT GLP、未公表
45	1997	SAN 1315 H ISOLATED GUINEA-PIG ILEUM GLP、未公表
46	1997	SAN 1315 H CHARCOAL PROPULSION TEST (oral administration) GLP、未公表
47	1997	SAN 1315 H SLANT TEST (oral administration) GLP、未公表
48	1997	SAN 1315 H BLOOD COAGULATION IN THE RAT (oral administration) GLP、未公表
49	1997	SAN 1315 H URINE AND ELECTROLYTE EXCRETION (oral administration) GLP、未公表
50	2023	ベンゾビスクロン公表文献報告書 URL : https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_ha-17.pdf
51	2024	ベンゾビスクロン公表文献報告書（追補） URL : https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/saihyoka/attach/pdf/saihyouka_ha-18.pdf
52	2023	ベンゾビスクロンの試験成績の概要及び考察 未公表

別添1：適用病虫害雑草等の範囲及び使用方法（ベンゾビシクロン）

目次

1. 登録番号 20625：ショウエースフロアブル （ベンゾビシクロン 5.7 %水和剤）	9
2. 登録番号 20626：ショウエース 1 キロ粒剤 （ベンゾビシクロン 3.0 %粒剤）	9
3. 登録番号 20634：フォーカスショットジャンボ、 登録番号 21105：科研フォーカスショットジャンボ （ベンゾビシクロン 4.0 %・ペントキサゾン 4.0 %粒剤）	9
4. 登録番号 20881：ウエスフロアブル （ピラゾレート 26.1 %・フェントラザミド 3.5 %・ベンゾビシクロン 3.5 %水和剤）	10
5. 登録番号 20944：ダブルスター S B 顆粒、 登録番号 20945：SDSダブルスター S B 顆粒 （ピラゾスルフロンエチル 2.6 %・フェントラザミド 25.0 %・ベンゾビシクロン 25.0 %水 和剤）	11
6. 登録番号 20946：イッテツフロアブル、 登録番号 20947：SDSイッテツフロアブル （イマズスルフロン 1.7 %・カフェンストロール 5.7 %・ベンゾビシクロン 3.8 %水和剤）	12
7. 登録番号 21208：プレッサフロアブル、 登録番号 21209：SDSプレッサフロアブル （ベンゾビシクロン 3.9 %・ペントキサゾン 3.9 %水和剤）	13
8. 登録番号 21368：SDSテラガードフロアブル （カフェンストロール 6.0 %・ベンスルフロンメチル 1.5 %・ベンゾビシクロン 4.0 %水和 剤）	14
9. 登録番号 21388：SDSテラガード 250 グラム （カフェンストロール 12.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ベンゾビシクロン 8.0 %剤）	15
10. 登録番号 21414：SDSイッテツ 1 キロ粒剤、 登録番号 21415：イッテツ 1 キロ粒剤 （イマズスルフロン 0.90 %・カフェンストロール 3.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤）	15
11. 登録番号 21421：SDSシロノック L フロアブル （カフェンストロール 5.5 %・ダイムロン 10.0 %・ベンスルフロンメチル 1.0 %・ベンゾ ビシクロン 4.0 %水和剤）	16

1 2.	登録番号 21440 : テラガード1 キロ粒剤 7 5 (カフェンストロール 3.0 %・ベンスルフロンメチル 0.75 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	17
1 3.	登録番号 21458 : SDS オークスフロアブル 登録番号 24010 : シルトフラブル (カフェンストロール 5.0 %・ダイムロン 10.0 %・ハロスルフロンメチル 1.2 %・ベンゾビシクロン 4.0 %水和剤)	18
1 4.	登録番号 21533 : SDS シロノック L ジャンボ、 登録番号 22408 : MIC シロノック L ジャンボ (カフェンストロール 7.1 %・ダイムロン 14.3 %・ベンスルフロンメチル 1.5 %・ベンゾビシクロン 5.7 %粒剤)	19
1 5.	登録番号 21539 : SDS テラガードジャンボ (カフェンストロール 12.0 %・ベンスルフロンメチル 3.0 %・ベンゾビシクロン 8.0 % 剤)	20
1 6.	登録番号 21544 : シリウスターボ1 キロ粒剤 (オキサジクロメホン 0.80 %・ジメタメトリン 0.60 %・ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	21
1 7.	登録番号 21599 : イッテツジャンボ、 登録番号 21600 : SD イッテツジャンボ、 登録番号 21803 : ボランティアジャンボ (イマゾスルフロン 2.25 %・カフェンストロール 7.5 %・ベンゾビシクロン 5.0 %粒剤)	22
1 8.	登録番号 21630 : サスケーラジカルジャンボ、 登録番号 23831 : レオンジャンボパワー (カフェンストロール 10.5 %・シクロスルファミロン 2.25 %・ダイムロン 22.5 %・ベン ゾビシクロン 10.0 %粒剤)	23
1 9.	登録番号 21778 : SDS シロノック 1 キロ粒剤 5 1 (カフェンストロール 3.0 %・ダイムロン 6.0 %・ベンスルフロンメチル 0.51 %・ベンゾ ビシクロン 2.0 %粒剤)	24
2 0.	登録番号 22080 : ハイカット1 キロ粒剤、 登録番号 22081 : SDS ハイカット1 キロ粒剤 登録番号 22165 : サンパチ1 キロ粒剤 (シハロホップブチル 1.8 %・ジメタメトリン 1.0 %・ハロスルフロンメチル 0.90 %・ベ ンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	25
2 1.	登録番号 22084 : SDS オークスジャンボ (カフェンストロール 10.0 %・ダイムロン 16.7 %・ハロスルフロンメチル 2.0 %・ベン ゾビシクロン 6.7 %粒剤)	26

22.	登録番号 22112 : SDS オークス 1 キロ粒剤 (カフェンストロール 3.0 %・ダイムロン 5.0 %・ハロスルフロンメチル 0.60 %・ベンゾ ビシクロン 2.0 %粒剤)	27
23.	登録番号 22116 : イネキング 1 キロ粒剤、 登録番号 23680 : クサバルカン 1 キロ粒剤 (ピラクロニル 2.0 %・ピラゾレート 10.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	28
24.	登録番号 22117 : サンシャインジャンボ (ピラクロニル 6.6 %・ベンゾビシクロン 6.7 %粒剤)	29
25.	登録番号 22118 : サンシャイン 1 キロ粒剤 (ピラクロニル 2.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	29
26.	登録番号 22248 : イネキングジャンボ、 登録番号 23681 : クサバルカンジャンボ (ピラクロニル 4.0 %・ピラゾレート 20.0 %・ベンゾビシクロン 4.0 %粒剤)	30
27.	登録番号 22253 : サンシャインフロアブル (ピラクロニル 3.9 %・ベンゾビシクロン 3.9 %水和剤)	31
28.	登録番号 22271 : イネキングフロアブル、 登録番号 23682 : クサバルカンフロアブル (ピラクロニル 3.6 %・ピラゾレート 20.0 %・ベンゾビシクロン 4.0 %水和剤)	32
29.	登録番号 22500 : 忍 1 キロ粒剤 (イマズスルフロン 0.90 %・ピラクロニル 2.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	33
30.	登録番号 22501 : 忍フロアブル (イマズスルフロン 1.8 %・ピラクロニル 3.9 %・ベンゾビシクロン 3.9 %水和剤)	34
31.	登録番号 22790 : 忍ジャンボ (イマズスルフロン 4.5 %・ピラクロニル 10.0 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	35
32.	登録番号 22846 : 半蔵 1 キロ粒剤 (シクロスルファミロン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 3.9 %粒剤)	36
33.	登録番号 22969 : シリウスエグザ 1 キロ粒剤 (オキサジクロメホン 0.40 %・ピラクロニル 2.0 %・ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	37
34.	登録番号 23028 : フルイニングスカイ 500 グラム粒剤 (カフェンストロール 4.2 %・カルフェントラゾンエチル 1.8 %・フルセトスルフロン 0.44 %・ベンゾビシクロン 4.0 %粒剤)	38
35.	登録番号 23116 : シリウスエグザジャンボ (オキサジクロメホン 1.4 %・ピラクロニル 6.6 %・ピラゾスルフロンエチル 1.0 %・ベ ンゾビシクロン 6.7 %粒剤)	39

36.	登録番号 23144 : ライジンパワー 1 キロ粒剤、 登録番号 23145 : SDS ライジンパワー 1 キロ粒剤 (インダノファン 1.2 %・ピラクロニル 1.5 %・ベンゾビシクロン 3.0 %粒剤)	40
37.	登録番号 23155 : ブルゼータフロアブル、 登録番号 23156 : SDS ブルゼータフロアブル (プロピリスルフロロン 1.7 %・ベンゾビシクロン 3.9 %水和剤)	41
38.	登録番号 23157 : ブルゼータ 1 キロ粒剤、 登録番号 23158 : SDS ブルゼータ 1 キロ粒剤 (プロピリスルフロロン 0.90 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	42
39.	登録番号 23159 : ブルゼータジャンボ、 登録番号 23160 : SDS ブルゼータジャンボ (プロピリスルフロロン 4.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	43
40.	登録番号 23174 : フルイニングジャンボ (カフェンストロール 4.2 %・カルフェントラゾンエチル 1.8 %・フルセトスルフロロン 0.44 %・ベンゾビシクロン 4.0 %粒剤)	44
41.	登録番号 23199 : ホットコンビフロアブル (テニルクロール 4.0 %・ベンゾビシクロン 4.0 %水和剤)	45
42.	登録番号 23331 : ナギナタジャンボ (オキサジクロメホン 1.6 %・ピリミスルファン 2.2 %・ベンゾビシクロン 12.0 %剤)	46
43.	登録番号 23332 : ナギナタ豆つぶ 250 (オキサジクロメホン 1.6 %・ピリミスルファン 2.2 %・ベンゾビシクロン 12.0 %剤)	47
44.	登録番号 23335 : キクトモ 1 キロ粒剤、 登録番号 23336 : SDS キクトモ 1 キロ粒剤 (カフェンストロール 3.0 %・ジメタメトリン 0.60 %・ダイムロン 9.0 %・ベンゾビシク ロン 3.0 %粒剤)	48
45.	登録番号 23340 : クサトリーBSXジャンボL (フェントラザミド 10.0 %・ベンスルフロロンメチル 1.7 %・ベンゾビシクロン 6.7 %粒 剤)	49
46.	登録番号 23341 : クサトリーBSXジャンボH (フェントラザミド 10.0 %・ベンスルフロロンメチル 2.5 %・ベンゾビシクロン 6.7 %粒 剤)	50
47.	登録番号 23355 : ライジンパワージャンボ、 登録番号 23356 : SDS ライジンパワージャンボ (インダノファン 2.4 %・ピラクロニル 3.0 %・ベンゾビシクロン 6.0 %粒剤)	51
48.	登録番号 23360 : テッケン 1 キロ粒剤、 登録番号 23361 : ニトウリュウ 1 キロ粒剤 (ペノキススラム 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	52

49.	登録番号 23510 : アールタイプ1 キロ粒剤、 登録番号 23713 : シュナイデン1 キロ粒剤 (ピラゾレート 10.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・メタゾスルフロン 0.60 %粒剤)	53
50.	登録番号 23551 : ベンケイ1 キロ粒剤 (ピリミスルファン 0.50 %・フェノキサスルホン 2.0 %・ベンゾビシクロン 3.0 %粒剤)	54
51.	登録番号 23688 : ゲパード1 キロ粒剤 (ダイムロン 10.0 %・ピラクロニル 2.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・メタゾスルフロン 1.2 %粒剤)	55
52.	登録番号 23710 : ベンケイ豆つぶ250 (ピリミスルファン 2.0 %・フェノキサスルホン 8.0 %・ベンゾビシクロン 12.0 %剤)	56
53.	登録番号 23711 : ベンケイジャンボ (ピリミスルファン 2.0 %・フェノキサスルホン 8.0 %・ベンゾビシクロン 12.0 %剤)	57
54.	登録番号 23714 : アールタイプジャンボ、 登録番号 23715 : シュナイデンジャンボ (ピラゾレート 25.0 %・ベンゾビシクロン 5.0 %・メタゾスルフロン 1.5 %粒剤)	58
55.	登録番号 23716 : アールタイプフロアブル、 登録番号 23717 : シュナイデンフロアブル (ピラゾレート 18.2 %・ベンゾビシクロン 3.6 %・メタゾスルフロン 1.1 %水和剤)	59
56.	登録番号 23816 : 天空フロアブル (フェントラザミド 6.0 %・ベンゾビシクロン 6.0 %・メタゾスルフロン 1.2 %水和剤)	60
57.	登録番号 23817 : 天空ジャンボ (フェントラザミド 10.0 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %粒剤)	61
58.	登録番号 23918 : 天空1 キロ粒剤 (フェントラザミド 3.0 %・ベンゾビシクロン 3.0 %・メタゾスルフロン 0.60 %粒剤)	62
59.	登録番号 23977 : ジャイロ1 キロ粒剤 (イプフェンカルバズン 2.5 %・ベンゾビシクロン 3.0 %・ベンゾフェナップ 8.0 %粒 剤)	63
60.	登録番号 23978 : ジャイロフロアブル (イプフェンカルバズン 4.5 %・ベンゾビシクロン 5.4 %・ベンゾフェナップ 14.3 %水和 剤)	64
61.	登録番号 23979 : ツルギ1 キロ粒剤 (イプフェンカルバズン 2.5 %・イマゾスルフロン 0.90 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒 剤)	65

6 2. 登録番号 23983 : ゲパードジャンボ (ダイムロン 25.0 %・ピラクロニル 5.0 %・ベンゾビシクロン 5.0 %・メタゾスルフロン 3.0 %粒剤)	66
6 3. 登録番号 23985 : テッケンジャンボ、 登録番号 23986 号 : ニトウリュウジャンボ (ペノキススラム 1.0 %・ベンゾビシクロン 4.0 %粒剤)	67
6 4. 登録番号 23987 : アネシス 1 キロ粒剤 (ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ブタクロール 10.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒 剤)	68
6 5. 登録番号 23995 : S D S イザナギフロアブル、 登録番号 23996 : イザナギフロアブル (トリアファモン 0.94 %・ベンゾビシクロン 3.8 %・ペントキサゾン 5.7 %水和剤)	69
6 6. 登録番号 24079 : サスケ粒剤 2 0 0 (カフェンストロール 10.5 %・シクロスルフアムロン 2.25 %・ダイムロン 22.5 %・ベン ゾビシクロン 10.0 %粒剤)	70
6 7. 登録番号 24147 : アシュラフロアブル (トリアファモン 0.96 %・ピラクロニル 3.8 %・ベンゾビシクロン 3.8 %水和剤)	71
6 8. 登録番号 24178 : プロヴィジョン 1 キロ粒剤 (オキサジクロメホン 0.60 %・テフリルトリオン 2.0 %・ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	72
6 9. 登録番号 24188 : ツルギ 2 5 0 粒剤 (イプフェンカルバゾン 10.0 %・イマゾスルフロン 3.6 %・ベンゾビシクロン 8.0 %粒 剤)	73
7 0. 登録番号 24220 : ゲパードエアー粒剤 (ダイムロン 25.0 %・ピラクロニル 5.0 %・ベンゾビシクロン 5.0 %・メタゾスルフロン 3.0 %粒剤)	74
7 1. 登録番号 24304 : ホットコンビ 2 0 0 粒剤 (テニルクロール 10.0 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	75
7 2. 登録番号 24305 : ホットコンビジャンボ (テニルクロール 10.0 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	75
7 3. 登録番号 24320 : アシュラジャンボ (トリアファモン 1.25 %・ピラクロニル 5.0 %・ベンゾビシクロン 5.0 %粒剤)	76
7 4. 登録番号 24321 : アシュラ 4 0 0 F G (トリアファモン 1.25 %・ピラクロニル 5.0 %・ベンゾビシクロン 5.0 %粒剤)	77

75.	登録番号 24322 : アシュラ 1 キロ粒剤 (トリアファモン 0.50 %・ピラクロニル 2.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	78
76.	登録番号 24336 : SDS イザナギ 1 キロ粒剤、 登録番号 24337 : イザナギ 1 キロ粒剤 (トリアファモン 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・ペントキサゾン 2.5 %粒剤)	79
77.	登録番号 24342 : 天空エア一粒剤 (フェントラザミド 10.0 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %粒剤)	80
78.	登録番号 24385 : ダンクショットフロアブル (カフェンストロール 5.7 %・フロルピラウキシフェンベンジル 0.94 %・ベンゾビシクロン 3.8 %水和剤)	81
79.	登録番号 24386 : ダンクショット 1 キロ粒剤 (カフェンストロール 3.0 %・フロルピラウキシフェンベンジル 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	82
80.	登録番号 24389 : ウィードコア 1 キロ粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル 0.40 %・ペノキススラム 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	82
81.	登録番号 24435 : パピリカ 1 キロ粒剤 (テニルクロール 2.0 %・ピラクロニル 2.0 %・ベンゾビシクロン 3.0 %粒剤)	83
82.	登録番号 24443 : カイシMF 1 キロ粒剤、 登録番号 24444 : SDS カイシMF 1 キロ粒剤 (ベンゾビシクロン 2.0 %・メタミホップ 0.23 %粒剤)	83
83.	登録番号 24446 : サファイア 1 キロ粒剤 (ペノキススラム 0.25 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・メタゾスルフロン 0.60 %粒剤)	84
84.	登録番号 24495 : バットウZフロアブル (ピラクロニル 3.8 %・プロピリスルフロン 1.7 %・ベンゾビシクロン 3.8 %水和剤)	85
85.	登録番号 24496 : バットウZ 1 キロ粒剤 (ピラクロニル 2.0 %・プロピリスルフロン 0.90 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	86
86.	登録番号 24497 : バットウZジャンボ (ピラクロニル 5.0 %・プロピリスルフロン 2.25 %・ベンゾビシクロン 5.0 %粒剤)	87
87.	登録番号 24610 : SDS イザナギジャンボSD、 登録番号 24611 : イザナギジャンボSD (トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)	88
88.	登録番号 24612 : SDS イザナギ 200SD粒剤、 登録番号 24613 : イザナギ 200SD粒剤 (トリアファモン 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・ペントキサゾン 15.0 %粒剤)	88

89.	登録番号 24667 : グッドラック 500 グラム粒剤、 登録番号 24668 : SDS グッドラック 500 グラム粒剤 (シクロピリモレート 4.0 %・トリアファモン 1.0 %・ベンゾビシクロン 3.0 %粒剤)	.. 89
90.	登録番号 24669 : グッドラックフロアブル、 登録番号 24670 : SDS グッドラックフロアブル (シクロピリモレート 3.8 %・トリアファモン 0.95 %・ベンゾビシクロン 2.9 %水和剤)	90
91.	登録番号 24671 : グッドラックジャンボ、 登録番号 24672 : SDS グッドラックジャンボ (シクロピリモレート 13.3 %・トリアファモン 3.3 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	91
92.	登録番号 24682 : ホットコンビエルジャンボSD (テニクロール 6.0 %・ベンゾビシクロン 6.0 %粒剤)	91
93.	登録番号 24683 : ホットコンビエル 200 SD 粒剤 (テニクロール 6.0 %・ベンゾビシクロン 6.0 %粒剤)	92
94.	登録番号 24689 : アピロファースト 1 キロ粒剤、 登録番号 24690 : タクティクス 1 キロ粒剤 (ピリフタリド 1.2 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)	92
95.	登録番号 24701 : ウィードコアジャンボSD、 登録番号 24702 : SDS ウィードコアジャンボSD (フロルピラウキシフェンベンジル 2.0 %・ペノキススラム 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	93
96.	登録番号 24703 : ウィードコア 200 SD 粒剤、 登録番号 24704 : SDS ウィードコア 200 SD 粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル 2.0 %・ペノキススラム 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	93
97.	登録番号 24705 : ダンクショット 200 SD 粒剤 (カフェンストロール 15.0 %・フロルピラウキシフェンベンジル 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	94
98.	登録番号 24706 : ダンクショットジャンボSD (カフェンストロール 15.0 %・フロルピラウキシフェンベンジル 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	95
99.	登録番号 24713 : グッドラック 150 FG、 登録番号 24714 : SDS グッドラック 150 FG (シクロピリモレート 13.3 %・トリアファモン 3.3 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)	96

1. 登録番号 20625 : ショウエースフロアブル
(ベンゾピシクロン 5.7%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ	植代後～移植前7日、または移植直後～ルビエ1葉期。ただし、移植後30日まで	500 mL /10a	1回	原液湛水散布

ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数
3回以内

2. 登録番号 20626 : ショウエース1キロ粒剤
(ベンゾピシクロン 3.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ	植代後～移植前7日 または 移植直後～ルビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	1 kg /10a	1回	湛水散布

ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数
3回以内

3. 登録番号 20634 : フォーカスショットジャンボ、
登録番号 21105 : 科研フォーカスショットジャンボ
(ベンゾピシクロン 4.0%・ペントキサゾン 4.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリハラホ タカ ウリカワ ヒルムシロ クログワイ シズイ コウキカブラ	移植直後～ ルビエ1.5葉期 ただし、移植後 30日まで	小包装 (パック) 10個(500g) /10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる

ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
3回以内	2回以内

4. 登録番号 20881 : ウェスフロアブル

(ピラゾレート 26.1 %・フェントラザミド 3.5 %・ベンゾビシクロン 3.5 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ハラモダカ ヒルムシロ エゾノサヤカグサ	移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日 まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機 による滴下

ピラゾレートを含む農薬の 総使用回数	フェントラザミドを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数
2回以内	1回	3回以内

5. 登録番号 20944 : ダブルスター S B 顆粒、
 登録番号 20945 : S D S ダブルスター S B 顆粒
 (ピラゾスルフロンエチル 2.6 % ・ フェントラザミド 25.0 % ・ ベンゾビシクロ
 ン 25.0 % 水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	80g/10a	500ml/10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで				湛水散布 又は 無人航空機 による滴下
		-		顆粒水口施用		
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、収 穫90日前ま で		500ml/10a		湛水散布
				-	顆粒水口施用	

ピラゾスルフロンエチルを含む農薬の総使用回数	フェントラザミドを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
1回	1回	3回以内

6. 登録番号 20946 : イッテツフロアブル、
 登録番号 20947 : SDS イッテツフロアブル
 (イマゾスルフロン 1.7%・カフェンストロール 5.7%・ベンゾビシクロン
 3.8%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノサヤカグサ アオイトロ・藻類による表層はく離	移植後 5 日～ヒエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500mL/10a	1 回	原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下	2 回以内	1 回	3 回以内
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ヒエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	500mL/10a	1 回	原液湛水散布	2 回以内	1 回	3 回以内

7. 登録番号 21208 : プレッサフロアブル、
 登録番号 21209 : SDSプレッサフロアブル
 (ベンゾビシクロン 3.9%・ペントキサゾン 3.9%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水 稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ハラオモダカ	移植時	500 mL/10 a	1 回	田植え同時散布機で施用
	ウリカワ クログワイ シズイ ヒルムシロ コウキカガラ	移植直後～ ルビエ1.5葉期 ただし、 移植後 30 日まで			原液湛水散布

ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数
3 回以内	2 回以内

8. 登録番号 21368 : SDSテラガードフロアブル

(カフェンストロール 6.0 %・ベンスルフロンメチル 1.5 %・ベンゾビシクロン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスアオイ ウリカ ミスガヤツリ オモダカ クログワイ シズイ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 5 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 mL /10a	1 回	原液湛水散布

カフェンストロールを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	3 回以内

9. 登録番号 21388 : SDSテラガード250グラム

(カフェンストロール 12.0%・ベンスルフロンメチル 3.0%・ベンゾビシクロン 8.0%剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後5日～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	250g /10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布

カフェンストロール を含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内

10. 登録番号 21414 : SDSイッテツ1キロ粒剤、

登録番号 21415 : イッテツ1キロ粒剤

(イマズスルフロン 0.90%・カフェンストロール 3.0%・ベンゾビシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植後5日～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ハラモダカ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

イマズスルフロン を含む農薬の総使用回数	カフェンストロール を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2回以内	1回	3回以内

1 1. 登録番号 21421 : SDSシロノックLフロアブル

(カフェンストロール 5.5 %・ダイムロン 10.0 %・ベンスルフロメチル 1.0 %・ベンゾピシクロン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500mL/10a	1 回	原液湛水散布 又は水口施用	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田 では 2 回以内)
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで			原液湛水散布	2 回以内

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロメチルを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	3 回以内

12. 登録番号 21440 : テラガード1キロ粒剤75

(カフェンストロール 3.0%・ベンスルフロンメチル 0.75%・ベンゾビシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスアオイ ウリカ ミスガヤツリ オモダカ クログワイ シズイ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後5日～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日 まで	1kg/10a	1回	湛水散布

カフェンストロール を含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内

1 3. 登録番号 21458 : SDS オークスフロアブル

登録番号 24010 : シルトフラブル

(カフェンストロール 5.0 %・ダイムロン 10.0 %・ハロスルフロンメチル 1.2 %・ベンゾピシクロン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバ ^イ ホタル ^イ ウリカ ^リ ミズガヤツ ^リ ヘラオモダ ^カ ヒルムシ ^ロ シズ ^イ セ ^リ オモダ ^カ クログ ^{ワイ} アミト ^ロ ・藻類による表層はく離	移植後 5 日～ ル ^ビ エ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで	500ml/ 10a	1 回	原液湛水散布又は無人航空機による滴下

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内	3 回以内

14. 登録番号 21533 : SDSシロノックLジャンボ、
 登録番号 22408 : MICシロノックLジャンボ
 (カフェンストロール7.1%・ダイムロン14.3%・ベンスルフロンメチル
 1.5%・ベンゾピシクロン5.7%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ クログワイ オモダカ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ルビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (350g)/10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま投げ入れる。	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで				2回以内

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内

15. 登録番号 21539 : SDSテラガードジャンボ

(カフェンストロール 12.0%・ベンスルフロンメチル 3.0%・ベンゾビシクロン 8.0%剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 5 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個(250g) /10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	3 回以内

16. 登録番号 21544 : シリウスターボ 1 キロ粒剤

(オキサジクロメホン 0.80 %・ジメタメトリン 0.60 %・ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヘラモダカ オモダカ ヒルムシロ クログワイ セリ アオイトロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	1kg/10a	1 回	湛水散布

オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	ジメタメトリンを含む農薬の総使用回数	ピラゾスルフロンエチルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	1回	3回以内

17. 登録番号 21599 : イッテツジャンボ、
 登録番号 21600 : S D イッテツジャンボ、
 登録番号 21803 : ボランティアジャンボ
 (イマゾスルフロン 2.25 % ・ カフェンストロール 7.5 % ・ ベンゾビシクロン
 5.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 5 日～ヒエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	小包装(パック)10 個 (400g)/10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2 回以内	1 回	3 回以内
直播 水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ セリ	稲 1 葉期 ～ヒエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前まで	小包装(パック)10 個 (400g)/10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2 回以内	1 回	3 回以内

18. 登録番号 21630 : サスケーラジカルジャンボ、
 登録番号 23831 : レオンジャンボパワー
 (カフェンストロール 10.5 %・シクロスルファミロン 2.25 %・ダイムロン
 22.5 %・ベンゾピシクロン 10.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	シクロスルファミロンを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ハラオモダカ クロクワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ヒエ 2 葉期 ただし、移植 後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個 (200g) /10a	1 回	水口施用又は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	1 回	2 回以内	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	3 回以内
直播水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ヒエ 2 葉期 ただし、収穫 60 日前まで			水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。				

19. 登録番号 21778 : SDSシロノック 1キログラム剤 51

(カフェンストロール 3.0%・ダイムロン 6.0%・ベンスルフロンメチル 0.51%・ベンゾピシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ	移植時	1 kg/10a	1回	田植同時 散布機で 施用	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、本田で は2回以内)
	ウリカ クログワイ オモダカ ヒルムシ セリ アオイトロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで			湛水散布	
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、収穫90 日前まで				2回以内

カフェンストロールを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内

20. 登録番号 22080 : ハイカット 1 キロ粒剤、
 登録番号 22081 : SDS ハイカット 1 キロ粒剤
 登録番号 22165 : サンパチ 1 キロ粒剤
 (シハロホップブチル 1.8 % ・ ジメタメトリン 1.0 % ・ ハロスルフロメチル
 0.90 % ・ ベンゾピシクロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 キシュウスメノヒエ アオイトロ・藻類による 表層はく離	移植後 15 日～ ルビエ 3.5 葉期 但し、収穫 60 日前 まで	1kg/10a	1 回	湛水散布又は 無人航空機による 散布
直播 水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカ ヒルムシロ	稲 3 葉期～ ルビエ 3.5 葉期まで 但し、収穫 60 日前 まで			

シハロホップブチルを含む 農薬の総使用回数	ジメタメトリンを含む 農薬の総使用回数	ハロスルフロメチルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数
3 回以内	2 回以内	2 回以内	3 回以内

21. 登録番号 22084 : SDS オークスジャンボ

(カフェンストロール 10.0%・ダイムロン 16.7%・ハロスルフロメチル
2.0%・ベンゾビシクロン 6.7%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ ヒルムシロ シズイ セリ アミト [®] ・藻類による表層はく離	移植後 5 日～ ビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個(300g) /10a	1 回	水田に小包装 (パック) のまま 投げ入れる

カフェンストロールを 含む農薬の総使用回数	ダイムロンを 含む農薬の総使用回数	ハロスルフロメチルを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以 内、本田では 2 回以内)	2 回以内	3 回以内

22. 登録番号 22112 : SDS オークス 1 キロ粒剤

(カフェンストロール 3.0%・ダイムロン 5.0%・ハロスルフロメチル
0.60%・ベンゾビシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ クログワイ ヒルムシロ シズイ セリ アオミドロ・藻類 による表層はく離	移植後 5 日～ ビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	1kg/10a	1 回	湛水散布

カフェンストロールを 含む農薬の総使用回数	ダイムロンを 含む農薬の総使用回数	ハロスルフロメチルを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以 内、本田では 2 回以内)	2 回以内	3 回以内

23. 登録番号 22116 : イネキング 1 キロ粒剤、
 登録番号 23680 : クサバルカン 1 キロ粒剤
 (ピラクロニル 2.0 % ・ ピラゾレート 10.0 % ・ ベンゾビシクロン 2.0 % 粒
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラモダカ ミスガヤツリ ウリカ クログワイ オモダカ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による表層 はく離	移植時	1 kg/10a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ バエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布 又は無人航空機による 散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ	稲 1 葉期～ バエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ピラゾレートを 含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

24. 登録番号 22117 : サンシャインジャンボ

(ピラクロニル 6.6%・ベンゾビシクロン 6.7%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ クログワイ オモダカ	移植直後～ ルビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個(300g) /10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。

ピラクロニル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内

25. 登録番号 22118 : サンシャイン1キロ粒剤

(ピラクロニル 2.0%・ベンゾビシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植直後～ ルビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布
		移植時			田植同時散布 布機で施用
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ルビエ2葉期 ただし、 収穫75日前まで			湛水散布

ピラクロニル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内

26. 登録番号 22248 : イネキングジャンボ、
 登録番号 23681 : クサバルカンジャンボ
 (ピラクロニル 4.0 %・ピラゾレート 20.0 %・ベンゾビシクロン 4.0 %粒
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラモダカ ミスガヤツリ ウリカ クログワイ オモダカ ヒルムシロ アミトロ・藻類による 表層はく離	移植後 1 日～ルビエ 2.5 葉期、 ただし 移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個(500g) /10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ	稲 1 葉期～ルビエ 2.5 葉 期 ただし、 収穫 90 日前まで			

ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ピラゾレートを 含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

27. 登録番号 22253 : サンシャインフロアブル

(ピラクロニル 3.9%・ベンゾビシクロン 3.9%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノヤサガサ	移植直後～ ルビエ2葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 mL/10a	1 回	原液湛水散布
		移植時			田植同時散布 機で施用
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ	稲 1 葉期～ ルビエ2葉期 ただし、 収穫 90 日前まで			原液湛水散布

ピラクロニル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内

28. 登録番号 22271 : イネキングフロアブル、
 登録番号 23682 : クサバルカンフロアブル
 (ピラクロニル 3.6%・ピラゾレート 20.0%・ベンゾビシクロン 4.0%水和
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	移植時	500mL/10a	1回	田植同時散布機で施用
	ウリカ クログワイ オモダカ ヒルムシロ	移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、移植後30日 まで			原液湛水散布又は無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカ ヒルムシロ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前 まで			原液湛水散布、水口施用又は無人航空機による滴下

ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ピラゾレートを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

29. 登録番号 22500 : 忍 1 キロ粒剤

(イマゾスルフロン 0.90 % ・ピラクロニル 2.0 % ・ベンゾビシクロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノヤブカガサ アミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で 施用	2回以内	2回以内	3回以内
		移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日 まで			湛水散布 又は無人 航空機に よる散布			
直播 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉 期 ただし、 収穫90日 前まで	1kg/10a	1回	湛水散布 又は無人 航空機に よる散布	2回以内	2回以内	3回以内

30. 登録番号 22501 : 忍フロアブル

(イマズスルフロン 1.8%・ピラクロニル 3.9%・ベンゾビシクロン 3.9%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノササグサ アオイトロ・藻類による表層はく離	移植時	500mL/10a	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内	3回以内
		移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布、水口施用 又は無人航空機による滴下			
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ハラモダカ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ アオイトロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布、水口施用 又は無人航空機による滴下	2回以内	2回以内	3回以内

31. 登録番号 22790 : 忍ジャンボ

(イマゾスルフロン 4.5%・ピラクロニル 10.0%・ベンゾビシクロン 10.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ヒエ 2.5葉期 ただし、移植後30日まで	小包装(パック)10個 (200g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内	2回以内	3回以内
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ハラモダカ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ヒエ 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで	小包装(パック)10個 (200g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内	2回以内	3回以内

32. 登録番号 22846 : 半蔵 1 キロ粒剤

(シクロスルファミロン 0.50 % ・ ベンゾピシクロン 2.0 % ・ ペントキサゾン 3.9 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ バエ1.5葉期 ただし、 移植後30日 まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ バエ1.5葉期 ただし、 収穫90日前 まで			

シクロスルファミロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

33. 登録番号 22969 : シリウスエグザ 1 キロ粒剤

(オキサジクロメホン 0.40 %・ピラクロニル 2.0 %・ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ハラモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シスイ アオイトロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機で 施用
		移植直後～ ビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布
直播 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

オキサジクロメホンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ピラゾスルフロンエチルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬 の総使用回数
2回以内	2回以内	1回	3回以内

34. 登録番号 23028 : フルイニングスカイ 500 グラム粒剤

(カフェンストロール 4.2%・カルフェントラゾンエチル 1.8%・フルセトスルフロン 0.44%・ベンゾピシクロン 4.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	移植後 7 日～ ルビエ 4 葉期 但し収穫 60 日前 まで	500 g/10 a	1 回	湛水散布又は無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 4 葉期 但し収穫 60 日前 まで			

カフェンストロールを含む 農薬の総使用回数	カルフェントラゾンエチルを含む 農薬の総使用回数	フルセトスルフロンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む 農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	2 回以内	3 回以内

35. 登録番号 23116 : シリウスエグザジャンボ

(オキサジクロメホン 1.4%・ピラクロニル 6.6%・ピラゾスルフロンエチル 1.0%・ベンゾビシクロン 6.7%粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	小包装 (パック) 10個 (300g)/10a	移植直後 ～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30 日まで	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。

オキサジクロメホンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ピラゾスルフロンエチルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	1回	3回以内

36. 登録番号 23144 : ライジンパワー 1 キロ粒剤、
 登録番号 23145 : SDS ライジンパワー 1 キロ粒剤
 (インダノファン 1.2 % ・ ピラクロニル 1.5 % ・ ベンゾビシクロン 3.0 % 粒
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	インダノファンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日ま で	1kg/10a	1 回	湛水 散布	2回以内	2 回以内	3 回以内
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシ アオミドロ・藻類によ る表層はく離	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前ま で						

37. 登録番号 23155 : ブルゼータフロアブル、
 登録番号 23156 : SDSブルゼータフロアブル
 (プロピリスルフロロン1.7%・ベンゾビシクロン3.9%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノヤサガサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布 又は水口施用	2回以内	3回以内
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1.5葉期～ノビエ3葉期 ただし、収穫90日前まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布	2回以内	3回以内

38. 登録番号 23157 : ブルゼータ 1 キロ粒剤、
 登録番号 23158 : SDSブルゼータ 1 キロ粒剤
 (プロピリスルフロロン 0.90 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノササカグサ アオイトロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	2回以内	田植同時 散布機で 施用	2回以内	3回以内
		移植直後 ～ルビエ3 葉期 ただ し、収穫 60 日前まで			湛水散布 又は無人 航空機に よる散布		
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ アオイトロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期 ～ルビエ3 葉期 ただ し、収穫 60 日前まで	1kg/10a	2回以内	湛水散布 又は無人 航空機に よる散布	2回以内	3回以内

39. 登録番号 23159 : ブルゼータジャンボ、
 登録番号 23160 : SDSブルゼータジャンボ
 (プロピリスルフロン 4.5%・ベンゾビシクロン 10.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノヤサカゲサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ ルエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで	小包装(パック)10個 (200g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。	2回以内	3回以内
直播水稲	一年生雑草 ホタルイ ハラオモダカ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ	稲1葉期～ ルエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで	小包装(パック)10個 (200g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。	2回以内	3回以内

40. 登録番号 23174 : フルイニングジャンボ

(カフェンストロール 4.2%・カルフェントラゾンエチル 1.8%・フルセトスルフロン 0.44%・ベンゾビシクロン 4.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 5 日～ ルビエ 4 葉期 但し収穫 60 日前まで	小包装 (パック) 10 個 (500g)/10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 4 葉期 但し収穫 60 日前まで			

カフェンストロールを含む 農薬の総使用回数	カルフェントラゾンエチルを含む 農薬の総使用回数	フルセトスルフロンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	2 回以内	3 回以内

4 1. 登録番号 23199 : ホットコンビフロアブル

(テニルクロール 4.0 %・ベンゾビシクロン 4.0 %水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	テニルクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ	移植直後～ ルビエ2 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで	500 mL /10a	2 回以内	原液湛水散 布、水口施用 又は無人航空 機による滴下	2 回 以内	3 回 以内
		移植時	300～ 500 mL /10a		田植同時散布 機で施用		
		植代後～ 移植前 7 日 または 移植直後～ ルビエ1.5 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで	300 mL /10a		原液湛水散 布、水口施用 又は無人航空 機による滴下		

4 2. 登録番号 23331 : ナギナタジャンボ

(オキサジクロメホン 1.6 % ・ ピリミスルファン 2.2 % ・ ベンゾビシクロン

12.0 % 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキカハラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ルビエ2.5 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装 (パック)10 個 (250g)/10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ2.5 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

43. 登録番号 23332 : ナギナタ豆つぶ250

(オキサジクロメホン 1.6%・ピリミスルファン 2.2%・ベンゾビシクロン
12.0%剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキカカラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ルビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250g/10a	1回	湛水散布、湛水周 縁散布又は無人 航空機による散 布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布又は無 人航空機による 散布

オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

4 4. 登録番号 23335 : キクトモ 1 キロ粒剤、
 登録番号 23336 : S D S キクトモ 1 キロ粒剤
 (カフェンストロール 3.0 % ・ ジメタメトリン 0.60 % ・ ダイムロン 9.0 % ・
 ベンゾビシクロン 3.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ	移植直後～ ルビエ 2.5 葉期 但し、移植後 30 日ま で	1kg/10a	1 回	湛水散布
	ヒルムシロ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時			田植同時散布機 で施用

カフェンストロールを 含む農薬の総使用回数	ジメタメトリンを 含む農薬の総使用回数	ダイムロンを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以 内、本田では 2 回以内)	3 回以内

45. 登録番号 23340 : クサトリーBSXジャンボL

(フェントラザミド 10.0%・ベンスルフロンメチル 1.7%・ベンゾビシクロン 6.7%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカリ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ	移植後 1 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日 まで	小包装 (パック) 10 個(300g)/10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま投 げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前 まで			

フェントラザミドを含む 農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬 の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
1 回	2 回以内	3 回以内

46. 登録番号 23341 : クサトリーBSXジャンボH

(フェントラザミド 10.0%・ bensulfuron-methyl 2.5%・ benzobicyclon 6.7%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカ クログライ オモダカ ヒルムシロ セリ	移植後1日～ ルベエ2.5葉期 ただし、移植後30日 まで	小包装 (パック) 10個(300g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルベエ2.5葉期 ただし、収穫90日前 まで			

フェントラザミドを含む農薬の総使用回数	bensulfuron-methylを含む農薬の総使用回数	benzobicyclonを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内

47. 登録番号 23355 : ライジンパワージャンボ、
 登録番号 23356 : SDS ライジンパワージャンボ
 (インダノファン 2.4%・ピラクロニル 3.0%・ベンゾビシクロン 6.0%粒
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	インダノファンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (500g)/ 10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	2回以内	2回以内	3回以内
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで						

48. 登録番号 23360 : テッケン 1 キロ粒剤、
 登録番号 23361 : ニトウリュウ 1 キロ粒剤
 (ペノキススラム 0.50 % ・ ベンゾビシクロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペノキススラムを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 15 日～ ビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前ま で	1kg/10a	1回	湛水散布又は 無人航空機に よる散布	2回以内	3 回以内
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲 4 葉期～ ビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前ま で					

49. 登録番号 23510 : アールタイプ 1 キロ粒剤、
 登録番号 23713 : シュナイデン 1 キロ粒剤
 (ピラゾレート 10.0 % ・ ベンゾビシクロン 2.0 % ・ メタゾスルフロン 0.60 %
 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植時	1 kg/10a	1 回	田植同時散布 機で施用
		移植直後～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで			湛水散布 又は 無人航空機に よる散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

ピラゾレートを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを 含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

50. 登録番号 23551 : ベンケイ 1 キロ粒剤

(ピリミスルファン 0.50 % ・ フェノキサスルホン 2.0 % ・ ベンゾピシクロン 3.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植直後～ ルビエ3葉期 但し、移植後 30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布又は無人 航空機による散布
		移植時			田植同時散布機で 施用
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ3葉期 但し、収穫90 日前まで			湛水散布又は無人 航空機による散布

ピリミスルファンを含む農薬の 総使用回数	フェノキサスルホンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の 総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

5 1. 登録番号 23688 : ゲパード1 キロ粒剤

(ダイムロン 10.0 %・ピラクロニル 2.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %・メタゾスルフロン 1.2 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 14日～ ルビエ4葉期 但し、 収穫60日 前まで	1kg/10a	1回	湛水散布 又は 無人 航空機 による 散布	3回以内 (育苗箱散布は 1回以内、 本田では2回以内)
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲2葉期～ ルビエ4葉期 但し、 収穫60日 前まで				2回 以内

ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	3回以内

52. 登録番号 23710 : ベンケイ豆つぶ250

(ピリミスルファン 2.0%・フェノキサスルホン 8.0%・ベンゾビシクロン 12.0%剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ルビエ3葉期 但し、移植後 30日まで	250g/ 10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は無人航空機に よる散布
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ルビエ3葉期 但し、収穫90 日前まで			湛水散布 又は無人航空機に よる散布

ピリミスルファンを含む農薬の 総使用回数	フェノキサスルホンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

53. 登録番号 23711 : ベンケイジャンボ

(ピリミスルファン 2.0%・フェノキサスルホン 8.0%・ベンゾビシクロン 12.0%剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオイトロ・藻類による 表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ 3 葉期 但し、移植後 30 日まで	小包装 (パ ック) 10 個 (250g) /10a	1 回	水田に小包装 (パック) のまま 投げ入れる。
直播 水稻	一年生雑草 ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ アオイトロ・藻類による 表層はく離	稲 1 葉期～ ルビエ 3 葉期 但し、収穫 90 日前まで			

ピリミスルファンを含む農薬の 総使用回数	フェノキサスルホンを含む農薬の 総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

5 4. 登録番号 23714 : アールタイプジャンボ、
 登録番号 23715 : シュナイデンジャンボ
 (ピラゾレート 25.0 % ・ ベンゾビシクロン 5.0 % ・ メタゾスルフロン 1.5 %
 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日 まで	小包装 (パック) 10 個(400g) /10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前 まで			

ピラゾレートを含 む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬 の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

55. 登録番号 23716 : アールタイプフロアブル、
 登録番号 23717 : シュナイデンフロアブル
 (ピラゾレート 18.2%・ベンゾビシクロン 3.6%・メタゾスルフロン 1.1%
 水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 3 日～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500mL/10a	1 回	原液湛水 散布、 水口施用 又は無人航 空機による 滴下
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			

ピラゾレートを含 む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬 の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の 総使用回数
2 回以内	3 回以内	2 回以内

56. 登録番号 23816 : 天空フロアブル

(フェントラザミド 6.0%・ベンゾビシクロン 6.0%・メタゾスルフロン 1.2%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植時	500ml/10a	1回	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ ルビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布 又は 無人航空機 による滴下
直播 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

フェントラザミドを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを 含む農薬の総使用回数
1回	3回以内	2回以内

57. 登録番号 23817 : 天空ジャンボ

(フェントラザミド 10.0 % ・ベンゾビシクロン 10.0 % ・メタゾスルフロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後1日～ ルビエ3葉期 ただし、 移植後30日ま で	小包装 (パック) 10個(300g)/10a	1回	水田に 小包装(パック)の まま投げ入れ る。
直播水稲	一年生雑草 マツバ イ ホタルイ カリカリ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

フェントラザミドを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを 含む農薬の総使用回数
1回	3回以内	2回以内

58. 登録番号 23918 : 天空 1 キロ粒剤

(フェントラザミド 3.0 % ・ ベンゾビシクロン 3.0 % ・ メタゾスルフロン 0.60 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ヒエ3葉期 ただし、 移植後 30 日まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直 播 水 稲	一年生雑草 ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ヒエ3葉期 ただし、収穫 90 日前まで	1kg/10a	1回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布

フェントラザミドを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
1回	3回以内	2回以内

59. 登録番号 23977：ジャイロ 1 キロ粒剤

(イプフェンカルバゾン 2.5%・ベンゾビシクロン 3.0%・ベンゾフェナップ 8.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時 散布機 で施用
	ウリカリ ヒルムシロ オモダカ エゾノサヤカグサ	移植直後～ ビエ2.5 葉期 但し、 移植後 30 日 まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカリ ヒルムシロ	稲 1 葉期～ ビエ2.5 葉期 但し、 収穫 90 日前 まで			

イプフェンカルバゾンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農 薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む農 薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

60. 登録番号 23978 : ジャイロフロアブル

(イプフェンカルバゾン 4.5%・ベンゾビシクロン 5.4%・ベンゾフェナップ 14.3%
水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ オモダカ エゾノサヤカグサ ヒルムシロ	移植時	500mL/10a	1回	田植同時 散布機 で施用
		移植直後～ ルビエ2.5葉期 但し、 移植後30日 まで			原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機に よる滴下
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前 まで			

イプフェンカルバゾンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農 薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む農 薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

6 1. 登録番号 23979 : ツルギ 1 キロ粒剤

(イプフェンカルバゾン 2.5 % ・ イマゾスルフロン 0.90 % ・ ベンゾビシクロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植直後～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 移植後30日 まで	1kg/10a	1回	湛水散布 又は無人 航空機に よる散布	2回以内	2回以内	3回以内
		移植時			田植同時 散布機 で施用			
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 収穫 90 日 前まで			湛水散布 又は無人 航空機に よる散布			

6 2. 登録番号 23983 : ゲパードジャンボ

(ダイムロン 25.0 % ・ピラクロニル 5.0 % ・ベンゾビシクロン 5.0 % ・メタゾスルフロン 3.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 14 日～ ビエ 4 葉期 ただし、 収穫 60 日 前まで	小包装 (パック) 10 個 (400g) /10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、 本田では 2 回以内)	2 回 以内	3 回 以内	2 回 以内
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ビエ 4 葉期 ただし、収 穫 60 日前 まで				2 回 以内			

6 3. 登録番号 23985 : テッケンジャンボ、
 登録番号 23986 号 : ニトウリュウジャンボ
 (ペノキスラム 1.0 % ・ベンゾビシクロン 4.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペノキスラムを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植 水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 15 日～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで	小包装 (パック) 10 個(500g) /10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま投げ入れる。	2 回以内	3 回以内
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ アオトドロ・藻類による表層はく離	稲 4 葉期～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで					

6 4. 登録番号 23987 : アネシス 1 キロ粒剤

(ピラゾスルフロンエチル 0.30 %・ブタクロール 10.0 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラモダカ ヒルムシロ セリ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機で 施用
		移植直後～ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布又は 無人航空機による 散布
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ルビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

ピラゾスルフロンエチルを含む農薬の総使用回数	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
1回	2回以内	3回以内

65. 登録番号 23995 : SDSイザナギフロアブル、

登録番号 23996 : イザナギフロアブル

(トリアファモン 0.94%・ベンゾビシクロン 3.8%・ペントキサゾン 5.7%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生雑草	移植時	500mL/10a	1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ ヒエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布、 水口施用又は無人航空機による 滴下
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1.5葉期～ ヒエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布 又は無人航空機 による滴下

トリアファモン を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

66. 登録番号 24079 : サスケ粒剤 200

(カフェンストロール 10.5%・シクロスルファミロン 2.25%・ダイムロン 22.5%・ベンゾビシクロン 10.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	シクロスルファミロンを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラオモダカ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ 2 葉期 ただし、移植後 30 日まで	200g /10a	1 回	水口施用、湛水散布又は無人航空機による散布	1 回	2 回以内	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	3 回以内
	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 2 葉期 ただし、収穫 60 日前まで			湛水散布又は無人航空機による散布				

67. 登録番号 24147 : アシュラフロアブル

(トリアファモン 0.96%・ピラクロニル 3.8%・ベンゾビシクロン 3.8%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカリ ヒルムシロ	移植時	500mL/10a	1回	田植同時散布機で施用
	セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ 多年生イネ科雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ4葉期 但し、 移植後30日まで			原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ	稲1葉期～ ノビエ4葉期 但し、 収穫90日前まで			

トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

68. 登録番号 24178 : プロヴィジョン1キログ粒剤

(オキサジクロメホン 0.60%・テフリトリオン 2.0%・ピラゾスルフロンエチル 0.30%・ベンゾピシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布 機で施用
		移植直後～ ルビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布又は 無人航空機に よる散布

オキサジクロメホンを 含む農薬の総使用回数	テフリトリオンを 含む農薬の総使用回数	ピラゾスルフロンエチル を含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを 含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	1回	3回以内

69. 登録番号 24188 : ツルギ 250 粒剤

(イプフェンカルバゾン 10.0 % ・ イマゾスルフロン 3.6 % ・ ベンゾビシクロン 8.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イプフェンカルバゾンを含む農薬の総使用回数	イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植直後～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 移植後30日 まで	250g /10a	1回	湛水散布、 湛水周縁 散布、 水口施用 又は 無人航空機に よる散布	2回以内	2回以内	3回以内
		移植時			田植同時 散布機で 施用			
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ 2.5 葉期 但し、 収穫90日 前まで			湛水散布、 湛水周縁 散布、又は 無人航空機 による散布			

70. 登録番号 24220 : ゲパードエア一粒剤

(ダイムロン 25.0%・ピラクロニル 5.0%・ベンゾビシクロン 5.0%・メタゾスルフロ
ン 3.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 14 日～ ルビエ 4 葉期 ただし、 収穫 60 日前まで	400g /10a	1 回	湛水 散布、 湛水周縁 散布 又は 無人航空機による 散布	3 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、本田では 2 回以内)	2 回以内	3 回以内	2 回以内
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 4 葉期 ただし、収穫 60 日前まで				2 回以内			

7 1. 登録番号 24304 : ホットコンビ 200 粒剤

(テニルクロール 10.0 % ・ ベンゾビシクロン 10.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヒルムシロ	移植直後～ ルビエ 2 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	200g/10a	1 回	湛水散布、湛 水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機 による散布

テニルクロール を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内

7 2. 登録番号 24305 : ホットコンビジャンボ

(テニルクロール 10.0 % ・ ベンゾビシクロン 10.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヒルムシロ	移植直後～ ルビエ 2 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個 (200g) /10a	1 回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ 入れる。

テニルクロール を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内

7 3. 登録番号 24320 : アシュラジャンボ

(トリアファモン 1.25 % ・ピラクロニル 5.0 % ・ベンゾビシクロン 5.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 マツバ ^イ ホタル ^イ ヘラオモ ^ダ カ ミス ^カ ヤツリ ウリ ^カ ヒルム ^シ セリ オモ ^ダ カ クロク ^ワ イ コウキヤ ^ガ ラ 多年生 ^イ 科雑草 アオミ ^ド ロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ル ^ビ エ4 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで	小包装(ハ ^ッ ク)10 個 (400g)/10a	1 回	水田に 小包装(ハ ^ッ ク) のまま 投げ入れる。
直播 水稲	一年生雑草 マツバ ^イ ホタル ^イ ウリ ^カ ミス ^カ ヤツリ ヒルム ^シ セリ オモ ^ダ カ クロク ^ワ イ	稲 1 葉期～ ル ^ビ エ4 葉期 ただし、 収穫 90 日前 まで			

トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

74. 登録番号 24321 : アシュラ 400FG

(トリアファモン 1.25%・ピラクロニル 5.0%・ベンゾビシクロン 5.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ 多年生イネ科雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ルビエ4葉期 ただし、 移植後30日 まで	400g/10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布又は 無人航空機による散布
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ	稲1葉期～ ルビエ4葉期 ただし、 収穫90日前 まで			

トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

75. 登録番号 24322 : アシュラ 1 キロ粒剤

(トリアファモン 0.50 % ・ピラクロニル 2.0 % ・ベンゾビシクロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ハラモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機で 施用
	オモダカ クログワイ コウキヤガラ 多年生イネ科雑草 アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植直後～ ルビエ4葉期 ただし、 移植後30日 まで			湛水散布 又は 無人航空機による 散布
直播 水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ	稲1葉期～ ルビエ4葉期 ただし、 収穫90日前 まで			

トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

76. 登録番号 24336 : SDSイザナギ1キロ粒剤、

登録番号 24337 : イザナギ1キロ粒剤

(トリアファモン 0.50%・ベンゾビシクロン 2.0%・ペントキサゾン 2.5%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 多年生雑草	移植時	1 kg/10 a	1 回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ ルビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1.5葉期～ ルビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

トリアファモン を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

77. 登録番号 24342 : 天空エア一粒剤

(フェントラザミド 10.0 %・ベンゾビシクロン 10.0 %・メタゾスルフロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用病虫害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後1日～ ルビエ3葉期 ただし、 移植後30日ま で	300g/10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は無人航空機 による散布
直播 水稻	一年生雑草 マツハヱ ホタルイ ウリカリ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで			

フェントラザミドを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを 含む農薬の総使用回数
1回	3回以内	2回以内

78. 登録番号 24385 : ダンクショットフロアブル

(カフェンストロール 5.7%・フロルピラウキシフェンベンジル 0.94%・ベンゾビシクロン 3.8%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカリ ミスガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤカクサ ナガエツルノゲイトウ	移植後 3 日 ～ ルビエ3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	500 mL /10a	1 回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機による 滴下
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカリ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～/ ルビエ3 葉期 ただし、 収穫 90 日前 まで	500 mL /10a	1 回	原液湛水散布 又は 無人航空機による 滴下

カフェンストロール を含む農薬の総使用回数	フロルピラウキシフェンベンジル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内	3 回以内

79. 登録番号 24386 : ダンクショット1キロ粒剤

(カフェンストロール 3.0 %・フロルピラウキシフェンベンジル 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ ヒルムシロ セリ	移植後 3 日～ ヒェ 3 葉期 ただし、移植後 30 日まで	1 kg/10a	1 回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布

カフェンストロール を含む農薬の総使用回数	フロルピラウキシフェンベンジル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内	3 回以内

80. 登録番号 24389 : ウィードコア1キロ粒剤

(フロルピラウキシフェンベンジル 0.40 %・ペノキススラム 0.50 %・ベンゾビシクロン 2.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 キシュウスメノヒエ 多年生広葉雑草	移植後 7 日～ ヒェ 4 葉期 ただし、収穫 60 日前まで	1kg/10a	2 回 以内	湛水散布又は 無人航空機に よる散布
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ セリ ヒルムシロ	稲 3 葉期～ ヒェ 4 葉期 ただし、収穫 60 日前まで			

フロルピラウキシフェンベンジルを含む 農薬の総使用回数	ペノキススラムを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
3 回以内	2 回以内	3 回以内

8 1. 登録番号 24435 : パピリカ 1 キロ粒剤

(テニクロール 2.0 % ・ピラクロニル 2.0 % ・ベンゾビシクロン 3.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水 稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ	移植時	1kg/10a	1 回	田植同時散布機 で施用
		移植直後～ ルビエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで			湛水散布 又は 無人航空機による 散布

テニクロールを 含む農薬の総使用回 数	ピラクロニルを 含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを 含む農薬の総使用回 数
2回以内	2回以内	3回以内

8 2. 登録番号 24443 : カイシMF 1 キロ粒剤、

登録番号 24444 : SDS カイシMF 1 キロ粒剤

(ベンゾビシクロン 2.0 % ・メタミホップ 0.23 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヘラオモダカ ヒルムシロ	は種時	1kg/10a	1 回	は種同時散 布機で施用
		湛水直播のは種直後～/ ルビエ 2.5 葉期 但し、収穫 60 日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布

ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数	メタミホップを含む 農薬の総使用回数
3 回以内	3 回以内

83. 登録番号 24446 : サファイア 1 キロ粒剤

(ペノキスラム 0.25 % ・ ベンゾビシクロン 2.0 % ・ メタゾスルフロン 0.60 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ペノキスラムを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数	メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 多年生広葉雑草	移植後 7 日～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで	1kg/10a	1回	湛水 散布 又は 無人航空機による 散布	2 回以内	3 回以内	2 回以内
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲 4 葉期～ ルビエ 4 葉期 但し、 収穫 60 日前 まで						

84. 登録番号 24495 : バットウZフロアブル

(ピラクロニル 3.8%・プロピリスルフロン 1.7%・ベンゾビシクロン 3.8%水和剤)

物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ エゾノサヤスクサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後 3 日～ ルビエ3 葉期 ただし、 移植後 30 日 まで	500mL/10a	1 回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ ルビエ3 葉期 ただし、 収穫 90 日前 まで			

ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	プロピリスルフロンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

85. 登録番号 24496 : バットウ Z 1 キロ粒剤

(ピラクロニル 2.0 % ・ プロピリスルフロン 0.90 % ・ ベンゾビシクロン 2.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ	移植時	1kg/10a	1回	田植同時散布機で 施用
	セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ルビエ3葉期 ただし、 移植後30日 まで			湛水散布 又は 無人航空機による 散布
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ ルビエ3葉期 ただし、 収穫60日前 まで			

ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	プロピリスルフロンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

86. 登録番号 24497：バットウZジャンボ

(ピラクロニル 5.0%・プロピリスルフロン 2.25%・ベンゾビシクロン 5.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラモダカ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ビエ3葉期 ただし、 移植後30日 まで	小包装(パック)10 個(400g)/10a	1回	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる。
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ビエ3葉期 ただし、 収穫60日前 まで			

ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数	プロピリスルフロンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

87. 登録番号 24610 : SDSイザナギジャンボSD、

登録番号 24611 : イザナギジャンボSD

(トリアフェモン 2.5%・ベンゾビシクロン 10.0%・ペントキサゾン 15.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植直後～ ルビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個(200g) /10a	1回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる。

トリアフェモン を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

88. 登録番号 24612 : SDSイザナギ200SD粒剤、

登録番号 24613 : イザナギ200SD粒剤

(トリアフェモン 2.5%・ベンゾビシクロン 10.0%・ペントキサゾン 15.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植直後～ ルビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで	200g/10a	1回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布

トリアフェモン を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数	ペントキサゾン を含む農薬の総使用回数
2回以内	3回以内	2回以内

89. 登録番号 24667 : グッドラック 500 グラム粒剤、
 登録番号 24668 : SDS グッドラック 500 グラム粒剤
 (シクロピリモレート 4.0 %・トリアファモン 1.0 %・ベンゾビシクロン 3.0 %粒
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ハラモダカ ミスガヤツリ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層 はく離	移植時	500g/10a	1 回	田植同時散布 機で施用
	移植直後～ ルビエ 3.5 葉期 ただし、移植後 30 日 まで	湛水散布又は 無人航空機に よる散布			

シクロピリモレートを含む 農薬の総使用回数	トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

90. 登録番号 24669 : グッドラックフロアブル、
 登録番号 24670 : SDS グッドラックフロアブル
 (シクロピリモレート 3.8%・トリアファモン 0.95%・ベンゾビシクロン 2.9%水和剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ヘラモダカ ミスガヤツリ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオイトロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ルビエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	500mL/10a	1回	原液湛水散布 又は無人航空機による滴下

シクロピリモレートを含む 農薬の総使用回数	トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

9 1. 登録番号 24671 : グッドラックジャンボ、
 登録番号 24672 : SDS グッドラックジャンボ
 (シクロピリモレート 13.3 %・トリアファモン 3.3 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒
 剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミスガヤツリ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオイトロ・藻類による表層 はく離	移植直後～ ルビエ 3.5 葉期 ただし、移植後 30 日 まで	小包装 (パック) 10 個(150g) /10a	1 回	水田に 小包装(パック)の まま投げ 入れる。

シクロピリモレートを含む 農薬の総使用回数	トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	3 回以内

9 2. 登録番号 24682 : ホットコンビエルジャンボSD
 (テニルクロール 6.0 %・ベンゾビシクロン 6.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヒルムシロ	植代後～ 移植 7 日前 又は 移植直後～ルビエ 1.5 葉期まで ただし、 移植後 30 日まで	小包装 (パック)10 個 (200g) /10a	1 回	水田に小包装 (パック)のまま投 げ入れる

テニルクロール を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内

9 3. 登録番号 24683 : ホットコンビエル 200SD 粒剤
(テニルクロール 6.0%・ベンゾビシクロン 6.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ヒルムシロ	移植時	200 g/10a	1 回	田植同時散布機 で施用
		植代後～移植 7 日前 又は 移植直後～ ルビエ 1.5 葉期まで ただし、 移植後 30 日まで			湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用 又は 無人航空機 による散布

テニルクロール を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
2 回以内	3 回以内

9 4. 登録番号 24689 : アピロファースト 1 キロ粒剤、
登録番号 24690 : タクティクス 1 キロ粒剤
(ピリフタリド 1.2%・ベンゾビシクロン 2.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピリフタリドを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ	湛水直播の は種時	1kg/10a	1 回	は種同時散布 機で施用	2 回以内	3 回以内
		湛水直播の は種直後～ ルビエ 1.5 葉期 ただし、収穫 90 日前まで			湛水散布 又は 無人航空機 による散布		

95. 登録番号 24701：ウィードコアジャンボSD、
 登録番号 24702：SDSウィードコアジャンボSD
 (フロルピラウキシフェンベンジル 2.0%・ペノキススラム 2.5%・ベンゾビシク
 ロン 10.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 ホタルイ マツハイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	移植後 10 日～ ノビエ 4 葉期 ただし、収穫 60 日 前まで	小包装(パック)10 個 (200g)/10a	2 回以内	水田に小 包装(パック) のまま投 げ入れる

フロルピラウキシフェンベンジルを含む 農薬の総使用回数	ペノキススラムを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
3回以内	2回以内	3回以内

96. 登録番号 24703：ウィードコア 200SD 粒剤、
 登録番号 24704：SDSウィードコア 200SD 粒剤
 (フロルピラウキシフェンベンジル 2.0%・ペノキススラム 2.5%・ベンゾビシク
 ロン 10.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 ホタルイ マツハイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	移植後 10 日～ ノビエ 4 葉期 ただし、収穫 60 日前まで	200g/10a	2 回以内	湛水散 布、湛水 周縁散布 又は無人 航空機に よる散布

フロルピラウキシフェンベンジルを含む 農薬の総使用回数	ペノキススラムを含む農薬の総使 用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総 使用回数
3回以内	2回以内	3回以内

97. 登録番号 24705 : ダンクショット 200SD 粒剤

(カフェンストロール 15.0 %・フロルピラウキシフェンベンジル 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 % 粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラモダカ オモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤカグサ ナガエツルノゲイトウ	移植後 3 日～ ルビエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	200 g/10a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用 又は 無人航空機 による散布
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ ルビエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	200 g/10a	1 回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布

カフェンストロール を含む農薬の総使用回数	フロルピラウキシフェンベンジル を含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロン を含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内	3 回以内

98. 登録番号 24706 : ダンクショットジャンボSD

(カフェンストロール 15.0 %・フロルピラウキシフェンベンジル 2.5 %・ベンゾビシクロン 10.0 %粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラオモダカ オモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤカグサ ナガエツルノゲイトウ	移植後 3 日～ ルビエ 3 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装 (パック) 10 個(200 g) /10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる
直播水稻	一年生雑草 マツハイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ヒルムシロ セリ	1 葉期～ ルビエ 3 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで	小包装 (パック) 10 個(200 g) /10a	1 回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	フロルピラウキシフェンベンジルを含む農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む農薬の総使用回数
1 回	3 回以内	3 回以内

99. 登録番号 24713 : グッドラック 150FG、

登録番号 24714 : SDSグッドラック 150FG

(シクロピリモレート 13.3%・トリアファモン 3.3%・ベンゾビシクロン 10.0%粒剤)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミスガヤツリ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ルビエ3.5葉期 ただし、移植後30日まで	150g/10a	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は無人航空機による散布

シクロピリモレートを含む 農薬の総使用回数	トリアファモンを含む 農薬の総使用回数	ベンゾビシクロンを含む 農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	3回以内

別添 2 : 暴露量の推計 (ベンゾピシクロンを有効成分として含む製剤)

目次	頁
1. 登録番号20625 : ショウエースフロアブル (ベンゾピシクロン5.7%水和剤)7
2. 登録番号20626 : ショウエース 1 キロ粒剤 (ベンゾピシクロン3.0%粒剤)8
3. 登録番号20634 : フォーカスショットジャンボ、 登録番号21105 : 科研フォーカスショットジャンボ (ベンゾピシクロン4.0%・ペントキサゾン4.0%粒剤)9
4. 登録番号20881 : ウエスフロアブル (ピラゾレート26.1%・フェントラザミド3.5%・ベンゾピシクロン3.5%水和剤)10
5. 登録番号20944 : ダブルスター S B 顆粒、 登録番号20945 : S D S ダブルスター S B 顆粒 (ピラゾスルフロリエチル2.6%・フェントラザミド25.0%・ ベンゾピシクロン25.0%水和剤)11
6. 登録番号20946 : イッテツフロアブル、 登録番号20947 : S D S イッテツフロアブル (イマゾスルフロロン1.7%・カフェンストロール5.7%・ベンゾピシクロン3.8%水和剤)12
7. 登録番号21208 : プレッサフロアブル、 登録番号21209 : S D S プレッサフロアブル (ベンゾピシクロン3.9%・ペントキサゾン3.9%水和剤)13
8. 登録番号21368 : S D S テラガードフロアブル (カフェンストロール6.0%・ベンスルフロロンメチル1.5%・ ベンゾピシクロン4.0%水和剤)14
9. 登録番号21388 : S D S テラガード 2 5 0 グラム (カフェンストロール12.0%・ベンスルフロロンメチル3.0%・ベンゾピシクロン8.0%剤)15
1 0 . 登録番号21414 : S D S イッテツ 1 キロ粒剤、 登録番号21415 : イッテツ 1 キロ粒剤 (イマゾスルフロロン0.90%・カフェンストロール3.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤)16
1 1 . 登録番号21421 : S D S シロノック L フロアブル (カフェンストロール5.5%・ダイムロン10.0%・ベンスルフロロンメチル1.0%・ ベンゾピシクロン4.0%水和剤)17
1 2 . 登録番号21440 : テラガード 1 キロ粒剤 7 5 (カフェンストロール3.0%・ベンスルフロロンメチル0.75%・ ベンゾピシクロン2.0%粒剤)18
1 3 . 登録番号21458 : S D S オークスフロアブル 登録番号24010 : シルトフラブル (カフェンストロール5.0%・ダイムロン10.0%・ハロスルフロロンメチル1.2%・ ベンゾピシクロン4.0%水和剤)19
1 4 . 登録番号21533 : S D S シロノック L ジャンボ、 登録番号22408 : M I C シロノック L ジャンボ (カフェンストロール7.1%・ダイムロン14.3%・ベンスルフロロンメチル1.5%・ ベンゾピシクロン5.7%粒剤)20

15. 登録番号21539：S D Sテラガードジャンボ (カフェンストロール12.0%・ベンズスルフロンメチル3.0%・ ベンゾビシクロン8.0%剤)21
16. 登録番号21544：シリウスターボ1キロ粒剤 (オキサジクロメホン0.80%・ジメタメトリン0.60%・ ピラゾスルフロンエチル0.30%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)22
17. 登録番号21599：イッテツジャンボ、 登録番号21600：S D イッテツジャンボ、 登録番号21803：ボランティアジャンボ (イマゾスルフロン2.25%・カフェンストロール7.5%・ベンゾビシクロン5.0%粒剤)23
18. 登録番号21630：サスケーラジカルジャンボ、 登録番号23831：レオンジャンボパワー (カフェンストロール10.5%・シクロスルファムロン2.25%・ ダイムロン22.5%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤)24
19. 登録番号21778：S D Sシロノック1キロ粒剤51 (カフェンストロール3.0%・ダイムロン6.0%・ベンズスルフロンメチル0.51%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤)25
20. 登録番号22080：ハイカット1キロ粒剤、 登録番号22081：S D Sハイカット1キロ粒剤 登録番号22165：サンパチ1キロ粒剤 (シハロホップブチル1.8%・ジメタメトリン1.0%・ハロスルフロンメチル0.90%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤)26
21. 登録番号22084：S D Sオークスジャンボ (カフェンストロール10.0%・ダイムロン16.7%・ハロスルフロンメチル2.0%・ ベンゾビシクロン6.7%粒剤)27
22. 登録番号22112：S D Sオークス1キロ粒剤 (カフェンストロール3.0%・ダイムロン5.0%・ハロスルフロンメチル0.60%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤)28
23. 登録番号22116：イネキング1キロ粒剤、 登録番号23680：クサバルカン1キロ粒剤 (ピラクロニル2.0%・ピラゾレート10.0%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)29
24. 登録番号22117：サンシャインジャンボ (ピラクロニル6.6%・ベンゾビシクロン6.7%粒剤)30
25. 登録番号22118：サンシャイン1キロ粒剤 (ピラクロニル2.0%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)31
26. 登録番号22248：イネキングジャンボ、 登録番号23681：クサバルカンジャンボ (ピラクロニル4.0%・ピラゾレート20.0%・ベンゾビシクロン4.0%粒剤)32
27. 登録番号22253：サンシャインフロアブル (ピラクロニル3.9%・ベンゾビシクロン3.9%水和剤)33
28. 登録番号22271：イネキングフロアブル、 登録番号23682：クサバルカンフロアブル (ピラクロニル3.6%・ピラゾレート20.0%・ベンゾビシクロン4.0%水和剤)34
29. 登録番号22500：忍1キロ粒剤 (イマゾスルフロン0.90%・ピラクロニル2.0%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)35
30. 登録番号22501：忍フロアブル (イマゾスルフロン1.8%・ピラクロニル3.9%・ベンゾビシクロン3.9%水和剤)36
31. 登録番号22790：忍ジャンボ (イマゾスルフロン4.5%・ピラクロニル10.0%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤)37

3 2. 登録番号22846 : 半蔵 1 キロ粒剤 (シクロスルファミロン0.50%・ベンゾビシクロン2.0%・ペントキサゾン3.9%粒剤)38
3 3. 登録番号22969 : シリウスエグザ 1 キロ粒剤 (オキサジクロメホン0.40%・ピラクロニル2.0%・ピラゾスルフロンエチル0.30%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤)39
3 4. 登録番号23028 : フルイニングスカイ 5 0 0 グラム粒剤 (カフェンストロール4.2%・カルフェントラゾンエチル1.8%・ フルセトスルフロン0.44%・ベンゾビシクロン4.0%粒剤)40
3 5. 登録番号23116 : シリウスエグザジャンボ (オキサジクロメホン1.4%・ピラクロニル6.6%・ ピラゾスルフロンエチル1.0%・ベンゾビシクロン6.7%粒剤)41
3 6. 登録番号23144 : ライジンパワー 1 キロ粒剤、 登録番号23145 : S D S ライジンパワー 1 キロ粒剤 (インダノファン1.2%・ピラクロニル1.5%・ベンゾビシクロン3.0%粒剤)42
3 7. 登録番号23155 : ブルゼータフロアブル、 登録番号23156 : S D S ブルゼータフロアブル (プロピリスルフロン1.7%・ベンゾビシクロン3.9%水和剤)43
3 8. 登録番号23157 : ブルゼータ 1 キロ粒剤、 登録番号23158 : S D S ブルゼータ 1 キロ粒剤 (プロピリスルフロン0.90%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)44
3 9. 登録番号23159 : ブルゼータジャンボ、 登録番号23160 : S D S ブルゼータジャンボ (プロピリスルフロン4.5%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤)45
4 0. 登録番号23174 : フルイニングジャンボ (カフェンストロール4.2%・カルフェントラゾンエチル1.8%・ フルセトスルフロン0.44%・ベンゾビシクロン4.0%粒剤)46
4 1. 登録番号23199 : ホットコンビフロアブル (テニクロール4.0%・ベンゾビシクロン4.0%水和剤)47
4 2. 登録番号23331 : ナギナタジャンボ (オキサジクロメホン1.6%・ピリミスルファン2.2%・ベンゾビシクロン12.0%剤)48
4 3. 登録番号23332 : ナギナタ豆つぶ 2 5 0 (オキサジクロメホン1.6%・ピリミスルファン2.2%・ベンゾビシクロン12.0%剤)49
4 4. 登録番号23335 : キクトモ 1 キロ粒剤、 登録番号23336 : S D S キクトモ 1 キロ粒剤 (カフェンストロール3.0%・ジメタメトリン0.60%・ダイムロン9.0%・ ベンゾビシクロン3.0%粒剤)50
4 5. 登録番号23340 : クサトリー B S X ジャンボ L (フェントラザミド10.0%・ベンスルフロンメチル1.7%・ ベンゾビシクロン6.7%粒剤)51
4 6. 登録番号23341 : クサトリー B S X ジャンボ H (フェントラザミド10.0%・ベンスルフロンメチル2.5%・ ベンゾビシクロン6.7%粒剤)52
4 7. 登録番号23355 : ライジンパワージャンボ、 登録番号23356 : S D S ライジンパワージャンボ (インダノファン2.4%・ピラクロニル3.0%・ベンゾビシクロン6.0%粒剤)53
4 8. 登録番号23360 : テッケン 1 キロ粒剤、 登録番号23361 : ニトウリュウ 1 キロ粒剤 (ペノキススラム0.50%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)54

49. 登録番号23510：アールタイプ1キロ粒剤、 登録番号23713：シュナイデン1キロ粒剤 (ピラゾレート10.0%・ベンゾビシクロン2.0%・メタゾスルフロン0.60%粒剤)55
50. 登録番号23551：ベンケイ1キロ粒剤 (ピリミルスルファン0.50%・フェノキサスルホン2.0%・ベンゾビシクロン3.0%粒剤)56
51. 登録番号23688：ゲパード1キロ粒剤 (ダイムロン10.0%・ピラクロニル2.0%・ベンゾビシクロン2.0%・ メタゾスルフロン1.2%粒剤)57
52. 登録番号23710：ベンケイ豆つぶ250 (ピリミルスルファン2.0%・フェノキサスルホン8.0%・ベンゾビシクロン12.0%剤)58
53. 登録番号23711：ベンケイジャンボ (ピリミルスルファン2.0%・フェノキサスルホン8.0%・ベンゾビシクロン12.0%剤)59
54. 登録番号23714：アールタイプジャンボ、 登録番号23715：シュナイデンジャンボ (ピラゾレート25.0%・ベンゾビシクロン5.0%・メタゾスルフロン1.5%粒剤)60
55. 登録番号23716：アールタイプフロアブル、 登録番号23717：シュナイデンフロアブル (ピラゾレート18.2%・ベンゾビシクロン3.6%・メタゾスルフロン1.1%水和剤)61
56. 登録番号23816：天空フロアブル (フェントラザミド6.0%・ベンゾビシクロン6.0%・メタゾスルフロン1.2%水和剤)62
57. 登録番号23817：天空ジャンボ (フェントラザミド10.0%・ベンゾビシクロン10.0%・メタゾスルフロン2.0%粒剤)63
58. 登録番号23918：天空1キロ粒剤 (フェントラザミド3.0%・ベンゾビシクロン3.0%・メタゾスルフロン0.60%粒剤)64
59. 登録番号23977：ジャイロ1キロ粒剤 (イプフェンカルバズン2.5%・ベンゾビシクロン3.0%・ ベンゾフェナップ8.0%粒剤)65
60. 登録番号23978：ジャイロフロアブル (イプフェンカルバズン4.5%・ベンゾビシクロン5.4%・ ベンゾフェナップ14.3%水和剤)66
61. 登録番号23979：ツルギ1キロ粒剤 (イプフェンカルバズン2.5%・イマゾスルフロン0.90%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤)67
62. 登録番号23983：ゲパードジャンボ (ダイムロン25.0%・ピラクロニル5.0%・ベンゾビシクロン5.0%・ メタゾスルフロン3.0%粒剤)68
63. 登録番号23985：テッケンジャンボ、 登録番号23986号：ニトウリュウジャンボ (ペノキススラム1.0%・ベンゾビシクロン4.0%粒剤)69
64. 登録番号23987：アネシス1キロ粒剤 (ピラゾスルフロンエチル0.30%・ブタクロール10.0%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤)70
65. 登録番号23995：SDSイザナギフロアブル、 登録番号23996：イザナギフロアブル (トリアファモン0.94%・ベンゾビシクロン3.8%・ペントキサズン5.7%水和剤)71
66. 登録番号24079：サスケ粒剤200 (カフェンストロール10.5%・シクロスルファミロン2.25%・ダイムロン22.5%・ ベンゾビシクロン10.0%粒剤)72

67. 登録番号24147：アシュラフロアブル (トリアファモン0.96%・ピラクロニル3.8%・ベンゾビシクロン3.8%水和剤) 73
68. 登録番号24178：プロヴィジョン1キロ粒剤 (オキサジクロメホン0.60%・テフリルトリオン2.0%・ ピラゾスルフロンエチル0.30%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤) 74
69. 登録番号24188：ツルギ250粒剤 (イプフェンカルバズン10.0%・イマゾスルフロン3.6%・ ベンゾビシクロン8.0%粒剤) 75
70. 登録番号24220：ゲパードエア一粒剤 (ダイムロン25.0%・ピラクロニル5.0%・ベンゾビシクロン5.0%・ メタゾスルフロン3.0%粒剤) 76
71. 登録番号24304：ホットコンビ200粒剤 (テニクロール10.0%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤) 77
72. 登録番号24305：ホットコンビジャンボ (テニクロール10.0%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤) 78
73. 登録番号24320：アシュラジャンボ (トリアファモン1.25%・ピラクロニル5.0%・ベンゾビシクロン5.0%粒剤) 79
74. 登録番号24321：アシュラ400FG (トリアファモン1.25%・ピラクロニル5.0%・ベンゾビシクロン5.0%粒剤) 80
75. 登録番号24322：アシュラ1キロ粒剤 (トリアファモン0.50%・ピラクロニル2.0%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤) 81
76. 登録番号24336：SDSイザナギ1キロ粒剤、 登録番号24337：イザナギ1キロ粒剤 (トリアファモン0.50%・ベンゾビシクロン2.0%・ペントキサゾン2.5%粒剤) 82
77. 登録番号24342：天空エア一粒剤 (フェントラザミド10.0%・ベンゾビシクロン10.0%・メタゾスルフロン2.0%粒剤) 83
78. 登録番号24385：ダंकショットフロアブル (カフェンストロール5.7%・フロルピラウキシフェンベンジル0.94%・ ベンゾビシクロン3.8%水和剤) 84
79. 登録番号24386：ダंकショット1キロ粒剤 (カフェンストロール3.0%・フロルピラウキシフェンベンジル0.50%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤) 85
80. 登録番号24389：ウィードコア1キロ粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル0.40%・ペノキススラム0.50%・ ベンゾビシクロン2.0%粒剤) 86
81. 登録番号24435：パピリカ1キロ粒剤 (テニクロール2.0%・ピラクロニル2.0%・ベンゾビシクロン3.0%粒剤) 87
82. 登録番号24443：カイシMF1キロ粒剤、 登録番号24444：SDSカイシMF1キロ粒剤 (ベンゾビシクロン2.0%・メタミホップ0.23%粒剤) 88
83. 登録番号24446：サファイア1キロ粒剤 (ペノキススラム0.25%・ベンゾビシクロン2.0%・メタゾスルフロン0.60%粒剤) 89
84. 登録番号24495：バットウZフロアブル (ピラクロニル3.8%・プロピリスルフロン1.7%・ベンゾビシクロン3.8%水和剤) 90
85. 登録番号24496：バットウZ1キロ粒剤 (ピラクロニル2.0%・プロピリスルフロン0.90%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤) 91
86. 登録番号24497：バットウZジャンボ (ピラクロニル5.0%・プロピリスルフロン2.25%・ベンゾビシクロン5.0%粒剤) 92
87. 登録番号24610：SDSイザナギジャンボSD、 登録番号24611：イザナギジャンボSD (トリアファモン2.5%・ベンゾビシクロン10.0%・ペントキサゾン15.0%粒剤) 93

88. 登録番号24612：SDSイザナギ200SD粒剤、 登録番号24613：イザナギ200SD粒剤 (トリアファモン2.5%・ベンゾビシクロン10.0%・ペントキサズン15.0%粒剤)94
89. 登録番号24667：グッドラック500グラム粒剤、 登録番号24668：SDSグッドラック500グラム粒剤 (シクロピリモレート4.0%・トリアファモン1.0%・ベンゾビシクロン3.0%粒剤)95
90. 登録番号24669：グッドラックフロアブル、 登録番号24670：SDSグッドラックフロアブル (シクロピリモレート3.8%・トリアファモン0.95%・ベンゾビシクロン2.9%水和剤)96
91. 登録番号24671：グッドラックジャンボ、 登録番号24672：SDSグッドラックジャンボ (シクロピリモレート13.3%・トリアファモン3.3%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤)97
92. 登録番号24682：ホットコンビエルジャンボSD (テニルクロール6.0%・ベンゾビシクロン6.0%粒剤)98
93. 登録番号24683：ホットコンビエル200SD粒剤 (テニルクロール6.0%・ベンゾビシクロン6.0%粒剤)99
94. 登録番号24689：アピロファースト1キロ粒剤、 登録番号24690：タクティクス1キロ粒剤 (ピリフタリド1.2%・ベンゾビシクロン2.0%粒剤)100
95. 登録番号24701：ウィードコアジャンボSD、 登録番号24702：SDSウィードコアジャンボSD (フロルピラウキシフェンベンジル2.0%・ペノキススラム2.5%・ ベンゾビシクロン10.0%粒剤)101
96. 登録番号24703：ウィードコア200SD粒剤、 登録番号24704：SDSウィードコア200SD粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル2.0%・ペノキススラム2.5%・ ベンゾビシクロン10.0%粒剤)102
97. 登録番号24705：ダंकショット200SD粒剤 (カフェンストロール15.0%・フロルピラウキシフェンベンジル2.5%・ ベンゾビシクロン10.0%粒剤)103
98. 登録番号24706：ダंकショットジャンボSD (カフェンストロール15.0%・フロルピラウキシフェンベンジル2.5%・ ベンゾビシクロン10.0%粒剤)104
99. 登録番号24713：グッドラック150FG、 登録番号24714：SDSグッドラック150FG (シクロピリモレート13.3%・トリアファモン3.3%・ベンゾビシクロン10.0%粒剤)105

*：本資料は、製剤のハザード区分に応じた防護装備も考慮して作成した。

1. 登録番号20625 : ショウエースフロアブル (ベンゾピシクロン5.7%水和剤)

① 製剤情報	登録番号	20625
	種類・名称	ベンゾピシクロン水和剤(ショウエースフロアブル)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5.7 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/植代後～移植前7日または移植直後～1葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

2. 登録番号20626：シオウエース1キロ粒剤（ベンゾピシクロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	20626
	種類・名称	ベンゾピシクロン粒剤(シオウエース1キロ粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/植代後～移植前7日または移植直後～1葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

3. 登録番号20634：フォーカスショットジャンボ、登録番号21105：科研フォーカスショットジャンボ（ベンゾピシクロン4.0%・ペントキサゾン4.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	20634
	種類・名称	ベンゾピシクロン・ペントキサゾン粒剤(フォーカスショットジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植直後～収穫1.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4. 登録番号20881：ウエスフロアブル（ピラゾレート26.1%・フェントラザミド3.5%・ベンゾピシクロン3.5%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	20881
	種類・名称	ピラゾレート・フェントラザミド・ベンゾピシクロン水和剤(ウエスフロアブル)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.5 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ H^{b} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ H^{b} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

5. 登録番号20944：ダブルスターSB顆粒、登録番号20945：SDSダブルスターSB顆粒（ピラゾスルフロンエチル2.6%・フェントラザミド25.0%・ベンゾピシクロン25.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	20944
	種類・名称	ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド・ベンゾピシクロン水和剤(ダブルスターSB顆粒) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	25 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体(1~2) 製剤: 固体/散布時: 液体(3~6)	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等) (1~2) 顆粒水和剤等 (3~6)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液	6	50

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稲	0.08 kg/10a/移植直後~ ヒ° 2.5葉期 ただし、移植後30日まで で/顆粒水口施用/3回	1	固形剤(粒剤)_水稲(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稲	0.08 kg/10a/稲1葉期~ ヒ° 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで /顆粒水口施用/3回	1	固形剤(粒剤)_水稲(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	移植水稲	80 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布期で施用/3回	6	散布による暴露なし(手散布)			部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。			2.2	9.7	26.6	-	
4	移植水稲	80 mL, 0.5 L/10a/移植直後~ ヒ° 2.5葉期 ただし、移植後30日まで /湛水散布/3回	6	液剤_水稲(手散布)			長ズボン・長袖の作業衣		不浸透性手袋	4.6	20.1	55.1	-	
5	移植水稲	80 mL, 0.5 L/10a/移植直後~ ヒ° 2.5葉期 ただし、移植後30日まで /無人航空機による滴下/3回	6	散布による暴露なし(手散布)			部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。			2.2	9.7	26.6	-	
6	直播水稲	80 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期~ ヒ° 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで /湛水散布/3回	6	液剤_水稲(手散布)			長ズボン・長袖の作業衣		不浸透性手袋	4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6. 登録番号20946：イッテツフロアブル、登録番号20947：SDSイッテツフロアブル（イマズスルフロン1.7%・カフェンストロール5.7%・ベンゾピシクロン3.8%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	20946
	種類・名称	イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾピシクロン水和剤(イッテツフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.8 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後5日~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後5日~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

7. 登録番号21208：プレッサフロアブル、登録番号21209：SDSプレッサフロアブル（ベンゾピシクロン3.9%・ペントキサゾン3.9%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	21208
	種類・名称	ベンゾピシクロン・ペントキサゾン水和剤(プレッサフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.9 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後~ピエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

8. 登録番号21368 : SDSテラガードフロアブル (カフェンストロール6.0%・ペンシルフロンメチル1.5%・ベンゾピシクロン4.0%水和剤)

① 製剤情報	登録番号	21368
	種類・名称	カフェンストロール・ペンシルフロンメチル・ベンゾピシクロン水和剤 (SDSテラガードフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 液体 / 散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後5日～ヒエ2.5葉期 但し、移植後30日まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

9. 登録番号21388：SDSテラガード250グラム（カフェンストール12.0%・ペンシルフロメチル3.0%・ベンゾピシクロン8.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	21388
	種類・名称	カフェンストール・ペンシルフロメチル・ベンゾピシクロン剤(SDSテラガード250グラム) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	8 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植後5日～1ヶ月2.5葉期 但し、移植後30日まで / 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/ 3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

10. 登録番号21414：SDSイッテツ1キロ粒剤、登録番号21415：イッテツ1キロ粒剤（イマズスルフロン0.90%・カフェンストロール3.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21414
	種類・名称	イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾピシクロン粒剤(SDSイッテツ1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後5日～ヒエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで/ 湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/ 湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL(mg/kg 体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL(mg/kg 体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

1 1. 登録番号21421：SDSシロノックLフロアブル（カフェンストール5.5%・ダイムロン10.0%・ペンシルフロノメチル1.0%・ベンゾピシクロン4.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	21421
	種類・名称	カフェンストール・ダイムロン・ペンシルフロノメチル・ベンゾピシクロン水和剤 (SDSシロノックLフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
	1	10

使用 番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希 積 倍 数	散 布 時 の 予 測 式	防護装備あり							備 考	
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL		%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		¹⁾
1	移植水稲	500 mL, 0.5 L/10a / 移植後3日~7日=2.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布/3回	1	予測式に分類しない (-)	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稲	500 mL, 0.5 L/10a / 移植後3日~7日=2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	予測式に分類しない (-)	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稲	500 mL, 0.5 L/10a / 稲1葉期~7日=2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布/3回	1	予測式に分類しない (-)	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

12. 登録番号21440：テラガード1キロ粒剤75（カフェンストロール3.0%・ベンスルフロンメチル0.75%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21440
	種類・名称	カフェンストロール・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン粒剤(テラガード1キロ粒剤75) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後5日～ ¹⁾ ヒマ2.5葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

13. 登録番号21458：SDSオークスフロアブル登録番号24010：シルトフラブル（カフェンストロール5.0%・ダイムロン10.0%・ハロスルフロンメチル1.2%・ベンゾピシクロン4.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	21458
	種類・名称	カフェンストロール・ダイムロン・ハロスルフロンメチル・ベンゾピシクロン水和剤 (SDSオークスフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 液体 / 散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a / 移植後5日～収穫2.5葉期 ただし、移植後30日まで / 原液湛水散布又は無人航空機による滴下 / 3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100
 なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

14. 登録番号21533：SDSシロノックLジャンボ、登録番号22408：MICシロノックLジャンボ（カフェンストロール7.1%・ダイムロン14.3%・ベンスルフロメチル1.5%・ベンゾピシクロン5.7%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22408
	種類・名称	カフェンストロール・ダイムロン・ベンスルフロメチル・ベンゾピシクロン粒剤 (MICシロノックLジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5.7 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体 / 散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.35 kg/10a / 移植後3日～ ヒ° 2.5葉期 ただし、移植後30日まで / 水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。 / 3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.35 kg/10a / 稲1葉期～ ヒ° 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで / 水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。 / 3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

15. 登録番号21539：SDSテラガードジャンボ（カフェンストロール12.0%・ベンスルフロンメチル3.0%・ベンゾピシクロン8.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	21539
	種類・名称	カフェンストロール・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン剤 (SDSテラガードジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	8 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植後5日～ π 2.5葉期 但し、移植後30日まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	-	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

16. 登録番号21544：シリウスターボ1キロ粒剤（オキサジクロメホン0.80%・ジメタメトリン0.60%・ピラゾスルフロンエチル0.30%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21544
	種類・名称	オキサジクロメホン・ジメタメトリン・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾピシクロン粒剤（シリウスターボ1キロ粒剤）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後3日～ヒレ2.5葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）							3.1	13.4	36.7	-	

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100
 なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

17. 登録番号21599：イッテツジャンボ、登録番号21600：SDイッテツジャンボ、登録番号21803：ボランティアジャンボ
(イマズスルフロン2.25%・カフェンストロール7.5%・ベンゾピシクロン5.0%粒剤)

① 製剤情報	登録番号	21599
	種類・名称	イマズスルフロン・カフェンストロール・ベンゾピシクロン粒剤(イッテツジャンボ)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植後5日～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性バック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫60日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性バック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL(mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL(mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

18. 登録番号21630：サスケーラジカルジャンボ、登録番号23831：レオンジャンボパワー
(カフェンストロール10.5%・シクロスルフアムロン2.25%・ダイムロン22.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤)

① 製剤情報	登録番号	21630
	種類・名称	カフェンストロール・シクロスルフアムロン・ダイムロン・ベンゾピシクロン粒剤(サスケーラジカルジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後3日~ \pm 2葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用又は水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	-	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.2 kg/10a/稲1葉期~ \pm 2葉期 ただし、収穫60日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	-	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

19. 登録番号21778：SDSシロノック1キロ粒剤51（カフェンストロール3.0%・ダイムロン6.0%・ペンシルフロンメチル0.51%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	21778
	種類・名称	カフェンストロール・ダイムロン・ペンシルフロンメチル・ベンゾピシクロン粒剤 (SDSシロノック1キロ粒剤51) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
	1	10

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL ¹⁾	%AAOEL ²⁾		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)			
1	移植水稲	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	予測式に分類しない(-)	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稲	1 kg/10a/移植直後～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤)_水稲(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稲	1 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤)_水稲(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg 体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg 体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

20. 登録番号22080：ハイカット1キロ粒剤、登録番号22081：SDSハイカット1キロ粒剤、登録番号22165：サンパチ1キロ粒剤
(シハロホップブチル1.8%・ジメタメトリン1.0%・ハロスルフロメチル0.90%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤)

① 製剤情報	登録番号	22080
	種類・名称	シハロホップブチル・ジメタメトリン・ハロスルフロメチル・ベンゾピシクロン粒剤(ハイカット1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後15日~ ヒ° 3.5葉期 但し、収穫60日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲3葉期~ ヒ° 3.5葉期まで 但し、収穫60日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

2 1. 登録番号22084：SDSオークスジャンボ（カフェンストロール10.0%・ダイムロン16.7%・ハロスルフロメチル2.0%・ベンゾピシクロン6.7%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22084
	種類・名称	カフェンストロール・ダイムロン・ハロスルフロメチル・ベンゾピシクロン粒剤 (SDSオークスジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6.7 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体 / 散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.3 kg/10a / 移植後5日～収穫2.5葉期 ただし、移植後30日まで / 水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。 / 3回	1	-	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100
 なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

2.2. 登録番号22112：SDSオークス1キロ粒剤（カフェンストロール3.0%・ダイムロン5.0%・ハロスルフロメチル0.60%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22112
	種類・名称	カフェンストロール・ダイムロン・ハロスルフロメチル・ベンゾピシクロン粒剤 (SDSオークス1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体 / 散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤 (粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a / 移植後5日～ヒレ2.5葉期 ただし、移植後30日まで / 湛水散布 / 3回	1	固形剤 (粒剤) 水稻 (手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100
 なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

23. 登録番号22116：イネキング1キロ粒剤、登録番号23680：クサバルカン1キロ粒剤（ピラクロニル2.0%・ピラゾレート10.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22116
	種類・名称	ピラクロニル・ピラゾレート・ベンゾピシクロン粒剤 (イネキング1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤 (粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水稻 (手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水稻 (手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

2.4. 登録番号22117：サンシャインジャンボ（ピラクロニル6.6%・ベンゾピシクロン6.7%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22117
	種類・名称	ピラクロニル...ベンゾピシクロン粒剤(サンシャインジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6.7 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	0.3 kg/10a/移植直後～ヒエ2葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

25. 登録番号22118：サンシャイン1キログ粒剤（ピラクロニル2.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22118
	種類・名称	ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤(サンシャイン1キログ粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ヒエ2葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒエ2葉期 ただし、収穫75日前まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

26. 登録番号22248：イネキングジャンボ、登録番号23681：クサバルカンジャンボ（ピラクロニル4.0%・ピラゾレート20.0%・ベンゾピシクロン4.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22248
	種類・名称	ピラクロニル・ピラゾレート・ベンゾピシクロン粒剤 (イネキングジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植後1日～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.5 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

27. 登録番号22253：サンシャインフロアブル（ピラクロニル3.9%・ベンゾピシクロン3.9%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22253
	種類・名称	ピラクロニル・ベンゾピシクロン（サンシャインフロアブル）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.9 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						%AOEL 1)	%AAOEL 2)	備考
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)			
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ヒエ2葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期～ヒエ2葉期 ただし、収穫75日前まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

28. 登録番号22271：イネキングフロアブル、登録番号23682：クサバルカンフロアブル（ピラクロニル3.6%・ピラゾレート20.0%・ベンゾピシクロン4.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22271
	種類・名称	ピラクロニル・ピラゾレート・ベンゾピシクロン(イネキングフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜収穫2.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期〜収穫2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期〜収穫2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

29. 登録番号22500：忍1キロ粒剤（イマズスルフロン0.90%・ピラクロニル2.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22500
	種類・名称	イマズスルフロン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤(忍1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ L^{e} 2.5葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	-	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。										
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ L^{e} 2.5葉期ただし、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

30. 登録番号22501：忍フロアブル（イマズスルフロン1.8%・ピラクロニル3.9%・ベンゾピシクロン3.9%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	22501
	種類・名称	イマズスルフロン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン水和剤(忍フロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.9 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。						散布時: 農業用マスク、不浸透性防除衣		
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}2.5$ 葉期ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。						散布時: 農業用マスク、不浸透性防除衣		
3	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}2.5$ 葉期ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。						散布時: 農業用マスク、不浸透性防除衣		
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}2.5$ 葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。						散布時: 農業用マスク、不浸透性防除衣		
5	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}2.5$ 葉期 ただし、収穫90日前まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。						散布時: 農業用マスク、不浸透性防除衣		

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

3 1. 登録番号22790：忍ジャンボ（イマズスルフロン4.5%・ピラクロニル10.0%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22790
	種類・名称	イマズスルフロン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤(忍ジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植直後～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.2 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

3 2. 登録番号22846：半蔵1キログラム剤（シクロスルファミロン0.50%・ベンゾピシクロン2.0%・ペントキサゾン3.9%剤）

① 製剤情報	登録番号	22846
	種類・名称	シクロスルファミロン・ベンゾピシクロン・ペントキサゾン剤(半蔵1キログラム剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ L^{e} 1.5葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
2	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	-	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ L^{e} 1.5葉期ただし、収穫90日前まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

33. 登録番号22969：シリウスエグザ1キロ粒剤（オキサジクロメホン0.40%・ピラクロニル2.0%・ピラゾスルフロンエチル0.30%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	22969
	種類・名称	オキサジクロメホン・ピラクロニル・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾピシクロン粒剤（シリウスエグザ1キロ粒剤）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考			
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜 H° ±2.5葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜 H° ±2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/湛水散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

3 4. 登録番号23028：フルイニングスカイ 5 0 0 グラム粒剤（カフェンストロール4.2%・カルフェントラゾンエチル1.8%・フルセトスルフロン0.44%・ベンゾピシクロン4.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23028
	種類・名称	カフェンストロール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロン・ベンゾピシクロン粒剤（フルイニングスカイ500グラム粒剤）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植後7日～収穫4葉期但し収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	0.5 kg/10a/稲1葉期～収穫4葉期但し収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

35. 登録番号23116：シリウスエグザジャンボ（オキサジクロメホン1.4%・ピラクロニル6.6%・ピラゾスルフロンエチル1.0%・ベンゾピシクロン6.7%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23116
	種類・名称	オキサジクロメホン・ピラクロニル・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾピシクロン粒剤（シリウスエグザジャンボ）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6.7 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体／散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.3 kg/10a/移植直後～収穫2.5葉期 ただし移植後30日まで /水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

36. 登録番号23144：ライジンパワー1キロ粒剤、登録番号23145：SDSライジンパワー1キロ粒剤（インダノファン1.2%・ピラクロニル1.5%・ベンゾピシクロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23144
	種類・名称	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤 (ライジンパワー1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農薬使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後3日～ヒエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで/ 湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/ 湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

3 7. 登録番号23155：プルゼータフロアブル、登録番号23156：SDSプルゼータフロアブル（プロピリスルフロン1.7%・ベンゾピシクロン3.9%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23155
	種類・名称	プロピリスルフロン・ベンゾピシクロン水和剤(プルゼータフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.9 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後5日～収穫3葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後5日～収穫3葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1.5葉期～収穫3葉期 ただし、収穫75日前まで/原液湛水散布/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

38. 登録番号23157：プルゼータ1キロ粒剤、登録番号23158：SDSプルゼータ1キロ粒剤（プロピリスルフロンの0.90%・ベンゾピシクロンの2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23157
	種類・名称	プロピリスルフロンの0.90%・ベンゾピシクロンの2.0%粒剤（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}3$ 葉期ただし、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}3$ 葉期ただし、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

39. 登録番号23159：ブルゼータジャンボ、登録番号23160：SDSブルゼータジャンボ（プロピリスルフロン4.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23159
	種類・名称	プロピリスルフロン・ベンゾピシクロン粒剤(ブルゼータジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後5日～収穫3葉期 ただし、収穫60日前まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.2 kg/10a/稲1葉期～収穫3葉期 ただし、収穫60日前まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

40. 登録番号23174：フルイニングジャンボ（カフェンストロール4.2%・カルフェントラゾンエチル1.8%・フルセトスルフロン0.44%・ベンゾピシクロン4.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23174
	種類・名称	カフェンストロール・カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロン・ベンゾピシクロン粒剤(フルイニングジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植後5日~11日4葉期 但し、収穫60日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	-	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.5 kg/10a/稲1葉期~11日4葉期 但し、収穫60日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	-	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 1. 登録番号23199：ホットコンピフロアブル（テニクロール4.0%・ベンゾピシクロン4.0%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23199
	種類・名称	テニクロール・ベンゾピシクロン水和剤(ホットコンピフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時			反復	急性	%AOEL 1)		%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ \pm 2葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ \pm 2葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
3	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
4	移植水稻	300 mL, 0.3 L/10a/植代後～移植前7日または移植直後～ \pm 1.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
5	移植水稻	300 mL, 0.3 L/10a/植代後～移植前7日または移植直後～ \pm 1.5葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 2. 登録番号23331：ナギナタジャンボ（オキサジクロメホン1.6%・ピリミスルファン2.2%・ベンゾピシクロン12.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	23331
	種類・名称	オキサジクロメホン・ピリミスルファン・ベンゾピシクロン剤(ナギナタジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	12 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植直後～収穫2.5葉期 但し、移植後30日まで /水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.25 kg/10a/稲1葉期～収穫2.5葉期 但し、収穫90日前まで /水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 3. 登録番号23332：ナギナタ豆つぶ250（オキサジクロメホン1.6%・ピリミスルファン2.2%・ベンゾピシクロン12.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	23332
	種類・名称	オキサジクロメホン・ピリミスルファン・ベンゾピシクロン剤(ナギナタ豆つぶ250) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	12 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋	
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植直後～収穫2.5葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							4.6	20.1	55.1	-	
2	直播水稻	0.25 kg/10a/稲1葉期～収穫2.5葉期 但し、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 4. 登録番号23335：キクトモ1キロ粒剤、登録番号23336：SDSキクトモ1キロ粒剤（カフェンストロール3.0%・ジメタメトリン0.60%・ダイムロン9.0%・ベンゾピシクロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23335
	種類・名称	カフェンストロール・ジメタメトリン・ダイムロン・ベンゾピシクロン粒剤(キクトモ1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考			
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ ヒト 2.5葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

45. 登録番号23340：クサトリーBSXジャンボL（フェントラザミド10.0%・ベンスルフロンメチル1.7%・ベンゾピシクロン6.7%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23340
	種類・名称	フェントラザミド・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン粒剤(クサトリーBSXジャンボL)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6.7 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.3 kg/10a/移植後1日～ t^{e} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.3 kg/10a/稲1葉期～ t^{e} 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

46. 登録番号23341：クサトリーBSXジャンボH（フェントラザミド10.0%・ベンスルフロンメチル2.5%・ベンゾピシクロン6.7%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23341
	種類・名称	フェントラザミド・ベンスルフロンメチル・ベンゾピシクロン粒剤(クサトリーBSXジャンボH)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6.7 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.3 kg/10a/移植後1日～ t^{e} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.3 kg/10a/稲1葉期～ t^{e} 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 7. 登録番号23355：ライジンパワージャンボ、登録番号23356：SDSライジンパワージャンボ（インダノファン2.4%・ピラクロニル3.0%・ベンゾピシクロン6.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23355
	種類・名称	インダノファン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤 (ライジンパワージャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用 番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希積 倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植後3日～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.5 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 8. 登録番号23360：テッケン1キロ粒剤、登録番号23361：ニトウリュウ1キロ粒剤（ペノキススラム0.50%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23360
	種類・名称	ペノキススラム・ベンゾピシクロン粒剤(テッケン1キロ粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後15日～収穫4葉期 但し、収穫60日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲4葉期～収穫4葉期 但し、収穫60日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg 体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg 体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

4 9. 登録番号23510：アールタイプ1キロ粒剤、登録番号23713：シュナイデン1キロ粒剤（ピラゾレート10.0%・ベンゾピシクロン2.0%・メタゾスルフロン0.60%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23510
	種類・名称	ピラゾレート・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(アールタイプ1キロ粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜収穫2.5葉期 ただし、移植後30日まで/灌水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜収穫2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/灌水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

50. 登録番号23551：ベンケイ1キロ粒剤（ピリミスルファン0.50%・フェノキサスルホン2.0%・ベンゾピシクロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23551
	種類・名称	ピリミスルファン・フェノキサスルホン・ベンゾピシクロン粒剤(ベンケイ1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ヒレ3葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒレ3葉期 但し、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

5 1. 登録番号23688：ゲパード1キログ粒剤（ダイムロン10.0%・ピラクロニル2.0%・ベンゾピシクロン2.0%・メタゾスルフロン1.2%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23688
	種類・名称	ダイムロン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(ゲパード1キログ粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後14日～ヒレ4葉期 但し、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲2葉期～ヒレ4葉期 但し、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL(mg/kg 体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL(mg/kg 体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

5 2. 登録番号23710：ベンケイ豆つぶ250（ピリミスルファン2.0%・フェノキサスルホン8.0%・ベンゾピシクロン12.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	23710
	種類・名称	ピリミスルファン・フェノキサスルホン・ベンゾピシクロン剤 (ベンケイ豆つぶ250) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	12 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体 / 散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤 (粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植後3日～収穫3葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水稻 (手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防護衣	マスク 1	不浸透性手袋	0.5	2.1	5.8	-	
2	直播水稻	0.25 kg/10a/稲1葉期～収穫3葉期 但し、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水稻 (手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防護衣	マスク 1	不浸透性手袋	0.5	2.1	5.8	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

53. 登録番号23711：ベンケイジャンボ（ピリミスルファン2.0%・フェノキサスルホン8.0%・ベンゾピシクロン12.0%剤）

① 製剤情報	登録番号	23711
	種類・名称	ピリミスルファン・フェノキサスルホン・ベンゾピシクロン剤(ベンケイジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	12 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植後3日～ L^{2} 葉期 但し、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.25 kg/10a/稲1葉期～ L^{2} 葉期 但し、収穫90日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

5 4. 登録番号23714：アールタイプジャンボ、登録番号23715：シュナイデンジャンボ（ピラゾレート25.0%・ベンゾピシクロン5.0%・メタゾスルフロン1.5%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23714
	種類・名称	ピラゾレート・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(アールタイプジャンボ)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植後3日～ヒト2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性バック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～ヒト2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性バック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

5 5. 登録番号23716：アールタイプフロアブル、登録番号23717：シュナイデンフロアブル（ピラゾレート18.2%・ベンゾピシクロン3.6%・メタゾスルフロン1.1%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23716
	種類・名称	ピラゾレート・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン水和剤(アールタイプフロアブル)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.6 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL	%AAOEL	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)	
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後3日~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後3日~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期~ ヒ^{e} 2.5葉期 ただし、収穫90日前まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

56. 登録番号23816：天空フロアブル（フェントラザミド6.0%・ベンゾピシクロン6.0%・メタゾスルフロン1.2%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23816
	種類・名称	フェントラザミド・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン水和剤(天空フロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ヒト3葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期～ヒト3葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

57. 登録番号23817：天空ジャンボ（フェントラザミド10.0%・ベンゾピシクロン10.0%・メタゾスルフロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23817
	種類・名称	フェントラザミド・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(天空ジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.3 kg/10a/移植後1日～収穫3葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.3 kg/10a/稲1葉期～収穫3葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

58. 登録番号23918：天空1キロ粒剤（フェントラザミド3.0%・ベンゾピシクロン3.0%・メタゾスルフロン0.60%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23918
	種類・名称	フェントラザミド・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(天空1キロ粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL	%AAOEL		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)		2)
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								調製時:保護眼鏡、散布時:不浸透性防除衣、農薬用マスク、保護眼鏡	
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜 $\text{H}^{\circ}\text{E}3$ 葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤)_水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク1	不浸透性手袋	0.5	2.1	5.8	-	調製時・散布時:保護眼鏡
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜 $\text{H}^{\circ}\text{E}3$ 葉期ただし、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤)_水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク1	不浸透性手袋	0.5	2.1	5.8	-	調製時・散布時:保護眼鏡

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

59. 登録番号23977：ジャイロ1キログ粒剤（イプフェンカルバゾン2.5%・ベンゾピシクロン3.0%・ベンゾフェナップ8.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23977
	種類・名称	イプフェンカルバゾン・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ粒剤(ジャイロ1キログ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜ヒト2.5葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜ヒト2.5葉期 但し、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

60. 登録番号23978：ジャイロフロアブル（イプフェンカルバゾン4.5%・ベンゾピシクロン5.4%・ベンゾフェナップ14.3%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23978
	種類・名称	イプフェンカルバゾン・ベンゾピシクロン・ベンゾフェナップ水和剤（ジャイロフロアブル）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5.4 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ ヒ° 2.5葉期 但し、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後～ ヒ° 2.5葉期 但し、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期～ ヒ° 2.5葉期 但し、90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
5	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期～ ヒ° 2.5葉期 但し、90日前まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6 1. 登録番号23979：ツルギ1キロ粒剤（イプフェンカルバゾン2.5%・イマゾスフロロン0.90%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23979
	種類・名称	イプフェンカルバゾン・イマゾスフロロン・ベンゾピシクロン粒剤(ツルギ1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								調製時・散布時:保護眼鏡	
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜ヒト2.5葉期 但し、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時・散布時:保護眼鏡
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜ヒト2.5葉期 但し、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時・散布時:保護眼鏡

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6 2. 登録番号23983：ゲパードジャンボ（ダイムロン25.0%・ピラクロニル5.0%・ベンゾピシクロン5.0%・メタゾスルフロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23983
	種類・名称	ダイムロン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(ゲパードジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植後14日～収穫前日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～収穫前日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6 3. 登録番号23985：テッケンジャンボ、登録番号23986号：ニトウリュウジャンボ（ペノキスラム1.0%・ベンゾピシクロン4.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23985
	種類・名称	ペノキスラム・ベンゾピシクロン粒剤(テッケンジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	4 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植後15日～収穫前日まで /水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.5 kg/10a/稲4葉期～収穫前日まで /水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6 4. 登録番号23987：アネシス 1 キロ粒剤（ピラゾスルフロンエチル0.30%・ブタクロール10.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	23987
	種類・名称	ピラゾスルフロンエチル・ブタクロール・メタゾスルフロン粒剤(アネシス1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								調製時・散布時:保護眼鏡	
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ヒエ2.5葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時・散布時:保護眼鏡
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒエ2.5葉期ただし、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時・散布時:保護眼鏡

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6 5. 登録番号23995：SDSイザナギフロアブル、登録番号23996：イザナギフロアブル（トリアファモン0.94%・ベンゾピシクロン3.8%・ペントキサゾン5.7%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	23995
	種類・名称	トリアファモン・ベンゾピシクロン・ペントキサゾン (SDSイザナギフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.8 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤:液体/散布時:液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	25
希釈液		

使用 番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希積 倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}3.5$ 葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}3.5$ 葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1.5葉期〜 $\text{ヒ}^{\circ}\text{E}3.5$ 葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

66. 登録番号24079：サスケ粒剤200（カフェンストール10.5%・シクロスルファミロン2.25%・ダイムロン22.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24079
	種類・名称	カフェンストール・シクロスルファミロン・ダイムロン・ベンゾピシクロン粒剤(サスケ粒剤200) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後3日~1ヶ月2葉期ただし、移植後30日まで/水口施用、湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防護服	マスク1	不浸透性手袋	0.3	1.4	3.9	-	
2	直播水稻	0.2 kg/10a/稲1葉期~1ヶ月2葉期ただし、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防護服	マスク1	不浸透性手袋	0.3	1.4	3.9	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

6 7. 登録番号24147：アシュラフロアブル（トリアファモン0.96%・ピラクロニル3.8%・ベンゾピシクロン3.8%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24147
	種類・名称	トリアファモン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン水和剤(アシュラフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.8 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜ヒト4葉期 但し、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植直後〜ヒト4葉期 但し、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期〜ヒト4葉期 但し、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
5	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期〜ヒト4葉期 但し、収穫90日前まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

68. 登録番号24178：プロヴィジョン1キロ粒剤（オキサジクロメホン0.60%・テフリトリオン2.0%・ピラゾスルフロンエチル0.30%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24178
	種類・名称	オキサジクロメホン・テフリトリオン・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾピシクロン粒剤(プロヴィジョン1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						%AOEL 1)	%AAOEL 2)	備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)				
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜収穫2.5葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

69. 登録番号24188：ツルギ250粒剤（イプフェンカルバゾン10.0%・イマゾスルフロン3.6%・ベンゾピシクロン8.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24188
	種類・名称	イプフェンカルバゾン・イマゾスルフロン・ベンゾピシクロン粒剤(ツルギ250粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	8 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	0.25 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								調製時・散布時:保護眼鏡	
2	移植水稻	0.25 kg/10a/移植直後~ L^{e} 2.5葉期 但し、移植後30日まで/灌水散布、灌水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時・散布時:保護眼鏡
3	直播水稻	0.25 kg/10a/稲1葉期~ L^{e} 2.5葉期 但し、収穫90日前まで/灌水散布、灌水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時・散布時:保護眼鏡

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

70. 登録番号24220：ゲパードエアーク剤（ダイムロン25.0%・ピラクロニル5.0%・ベンゾピシクロン5.0%・メタゾスルフロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24220
	種類・名称	ダイムロン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(ゲパードエアーク剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋	
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植後14日～ヒレ4葉期 ただし、収穫60日前まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～ヒレ4葉期 ただし、収穫60日前まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL(mg/kg 体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL(mg/kg 体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

7 1. 登録番号24304：ホットコンビ200粒剤（テニルクロール10.0%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24304
	種類・名称	テニルクロール・ベンゾピシクロン粒剤(ホットコンビ200粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植直後～ル・エ2葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)			不浸透性手袋	不浸透性防護衣	マスク1	不浸透性手袋	0.3	1.4	3.9	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

7 2. 登録番号24305：ホットコンビジャンボ（テニルクロール10.0%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24305
	種類・名称	テニルクロール・ベンゾピシクロン粒剤(ホットコンビジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植直後～ヒレ2葉期 ただし、移植後30日まで /水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

73. 登録番号24320：アシュラジャンボ（トリアファモン1.25%・ピラクロニル5.0%・ベンゾピシクロン5.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24320
	種類・名称	トリアファモン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤 (アシュラジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植直後～ヒエ4葉期 ただし、移植後30日まで /水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～ヒエ4葉期 ただし、収穫90日前まで /水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

7 4. 登録番号24321：アシュラ400FG（トリアファモン1.25%・ピラクロニル5.0%・ベンゾピシクロン5.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24321
	種類・名称	トリアファモン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤 (アシュラ400FG) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤 (粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用 番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈 倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋	
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植直後～ヒレ4葉期 ただし、移植後30日まで/ 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水 稲 (手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～ヒレ4葉期 ただし、収穫90日前まで/ 湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水 稲 (手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

75. 登録番号24322：アシュラ1キログ粒剤（トリアファモン0.50%・ピラクロニル2.0%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24322
	種類・名称	トリアファモン・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤 (アシュラ1キログ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ヒレ4葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期～ヒレ4葉期 ただし、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

76. 登録番号24336：SDSイザナギ1キロ粒剤、登録番号24337：イザナギ1キロ粒剤（トリアファモン0.50%・ベンゾピシクロン2.0%・ペントキサゾン2.5%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24336
	種類・名称	トリアファモン・ベンゾピシクロン・ペントキサゾン粒剤 (SDSイザナギ1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～/ヒエ3葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1.5葉期～/ヒエ3葉期ただし、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

7.7. 登録番号24342：天空エア－粒剤（フェントラザミド10.0%・ベンゾピシクロン10.0%・メタゾスルフロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24342
	種類・名称	フェントラザミド・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(天空エア－粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	0.3 kg/10a/移植後1日～ヒト3葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	調製時・散布時:保護眼鏡
2	直播水稻	0.3 kg/10a/稲1葉期～ヒト3葉期 ただし、収穫90日前まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						4.6	20.1	55.1	-	調製時・散布時:保護眼鏡

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL(mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL(mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

78. 登録番号24385：ダクショットフロアブル（カフェンストロール5.7%・フロルピラウキシフェンベンジル0.94%・ベンゾピシクロン3.8%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24385
	種類・名称	カフェンストロール・フロルピラウキシフェンベンジル・ベンゾピシクロン水和剤(ダクショットフロアブル)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.8 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	乳剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	25
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後3日～ t^{e} 3葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後3日～ t^{e} 3葉期 ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/湛水直播の稲1葉期～ t^{e} 3葉期 ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

79. 登録番号24386：ダクショット1キロ粒剤（カフェンストロール3.0%・フロルピラウキシフェンベンジル0.50%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24386
	種類・名称	カフェンストロール・フロルピラウキシフェンベンジル・ベンゾピシクロン粒剤(ダクショット1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考			
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後3日～ ¹⁾ 3葉期 ただし、移植後30日まで/ 灌水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	長ズボン・ 長袖の作業衣		不浸透性手袋	0.4	1.6	4.4	-	散布時: ゴム長靴

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100
 なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

80. 登録番号24389：ウィードコア1キロ粒剤（フロルピラウキシフェンベンジル0.40%・ペノキススラム0.50%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24389
	種類・名称	フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキススラム・ベンゾピシクロン粒剤（ウィードコア1キロ粒剤）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後7日～10葉期 ただし、収穫60日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水 稲（手散布）							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲3葉期～10葉期 ただし、収穫60日前まで/ 湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水 稲（手散布）							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

8 1. 登録番号24435：パピリカ1キロ粒剤（テニクロール2.0%・ピラクロニル2.0%・ベンゾピシクロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24435
	種類・名称	テニクロール・ピラクロニル・ベンゾピシクロン粒剤 (パピリカ1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤 (粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL	%AAOEL			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)		2)	
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。										
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後～ヒエ2.5葉期但し、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤 (粒剤) 水稻 (手散布)							4.6	20.1	55.1	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

8 2. 登録番号24443：カイシMF 1キロ粒剤、登録番号24444：SDSカイシMF 1キロ粒剤（ベンゾピシクロン2.0%・メタミホップ0.23%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24443
	種類・名称	ベンゾピシクロン・メタミホップ粒剤(カイシMF1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤 (粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	直播水稻	1 kg/10a/は種時/は種同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								散布時:ゴム長靴、長ズボン・長袖の作業衣	
2	直播水稻	1 kg/10a/湛水直播のは種直後~ t^{e} 2.5葉期 但し、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	長ズボン・長袖の作業衣		不浸透性手袋	0.4	1.6	4.4	-	散布時:ゴム長靴

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

83. 登録番号24446：サファイア1キロ粒剤（ペノキススラム0.25%・ベンゾピシクロン2.0%・メタゾスルフロン0.60%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24446
	種類・名称	ペノキススラム・ベンゾピシクロン・メタゾスルフロン粒剤(サファイア1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL (1)	%AAOEL (2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植後7日～収穫4葉期 但し、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク1	不浸透性手袋	0.3	1.4	3.9	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/稲4葉期～収穫4葉期 但し、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク1	不浸透性手袋	0.3	1.4	3.9	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

8 4. 登録番号24495：パットウZフロアブル（ピラクロニル3.8%・プロピリスルフロロン1.7%・ベンゾピシクロン3.8%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24495
	種類・名称	ピラクロニル・プロピリスルフロロン・ベンゾピシクロン水和剤（パットウZフロアブル）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3.8 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後3日～ L^2 3葉期ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
2	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a/移植後3日～ L^2 3葉期ただし、移植後30日まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
3	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期～ L^2 3葉期ただし、収穫90日前まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								
4	直播水稻	500 mL, 0.5 L/10a/稲1葉期～ L^2 3葉期ただし、収穫90日前まで/水口施用/3回	1	—	部会決定のとおり、施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

8 5. 登録番号24496：パットウZ 1キロ粒剤（ピラクロニル2.0%・プロピリスルフロロン0.90%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24496
	種類・名称	ピラクロニル・プロピリスルフロロン・ベンゾピシクロン粒剤（パットウZ1キロ粒剤）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	1 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	1 kg/10a/移植直後〜ヒエ3葉期ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）						3.1	13.4	36.7	-	
3	直播水稻	1 kg/10a/稲1葉期〜ヒエ3葉期ただし、収穫60日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤）_水稻（手散布）						3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

86. 登録番号24497：パットウZジャンボ（ピラクロニル5.0%・プロピリスルフロン2.25%・ベンゾピシクロン5.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24497
	種類・名称	ピラクロニル・プロピリスルフロン・ベンゾピシクロン 粒剤（パットウZジャンボ）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	5%	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	-
希釈液		

使用 番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈 倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク					
1	移植水稻	0.4 kg/10a/移植後3日～収穫3葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.4 kg/10a/稲1葉期～収穫3葉期 ただし、収穫60日前まで/水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

87. 登録番号24610：SDSイザナギジャンボSD、登録番号24611：イザナギジャンボSD（トリアファモン2.5%・ベンゾピシクロン10.0%・ペントキサゾン15.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24610
	種類・名称	トリアファモン・ベンゾピシクロン・ペントキサゾン粒剤 (SDSイザナギジャンボSD) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態 (製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植直後～ L^{1} 3.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装 (パック) のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

88. 登録番号24612：SDSイザナギ200SD粒剤、登録番号24613：イザナギ200SD粒剤（トリアファモン2.5%・ベンゾピシクロン10.0%・ペントキサゾン15.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24612
	種類・名称	トリアファモン・ベンゾピシクロン・ペントキサゾン粒剤(SDSイザナギ200SD粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植直後～ L^{b} 3.5葉期 ただし、移植後30日まで /湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

89. 登録番号24667：グッドラック500グラム粒剤、登録番号24668：SDSグッドラック500グラム粒剤（シクロピリモレート4.0%・トリアファモン1.0%・ベンゾピシクロン3.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24667
	種類・名称	シクロピリモレート・トリアファモン・ベンゾピシクロン粒剤（グッドラック500グラム粒剤）（除草剤）
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	3 %	
⑤ 製剤の形態（製剤/散布液）	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤（粉剤、微粒剤、粒剤等）	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数（倍）	経皮吸収率（%）
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考			
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)
1	移植水稻	0.5 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。									
2	移植水稻	0.5 kg/10a/移植直後〜 $\text{L}_{3.5}$ 葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤（粒剤） 水稻（手散布）						2.3	10.1	27.5	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

90. 登録番号24669：グッドラックフロアブル、登録番号24670：SDSグッドラックフロアブル（シクロピリモレート3.8%・トリアファモン0.95%・ベンゾピシクロン2.9%水和剤）

① 製剤情報	登録番号	24669
	種類・名称	シクロピリモレート・トリアファモン・ベンゾピシクロン水和剤(グッドラックフロアブル) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2.9 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 液体/散布時: 液体	
⑥ 調製時の予測式	フロアブル剤等	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	500 mL, 0.5 L/10a / 移植直後～ H^{e} 3.5葉期 ただし、移植後30日まで/原液湛水散布又は無人航空機による滴下 / 3回	1	—	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

9 1. 登録番号24671：グッドラックジャンボ、登録番号24672：SDSグッドラックジャンボ（シクロピリモレート13.3%・トリアファモン3.3%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24671
	種類・名称	シクロピリモレート・トリアファモン・ベンゾピシクロン粒剤(グッドラックジャンボ) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	0.15 kg/10a/移植直後～ L^{b} E3.5葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

9 2. 登録番号24682：ホットコンピエルジャンボSD（テニクロール6.0%・ベンゾピシクロン6.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24682
	種類・名称	テニクロール・ベンゾピシクロン粒剤(ホットコンピエルジャンボSD)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL	%AAOEL
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)		($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)
1	移植水稻	0.2 kg/10a/植代後～移植7日前又は移植直後～ヒレ1.5葉期まで ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま 投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

93. 登録番号24683：ホットコンピエル200SD粒剤（テニルクロール6.0%・ベンゾピシクロン6.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24683
	種類・名称	テニルクロール・ベンゾピシクロン粒剤(ホットコンピエル200SD粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	6%	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考	
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL	%AAOEL		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	1)		2)
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植時/田植同時散布機で施用/3回	1	-	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。								散布時: 農業用マスク、不浸透性防除衣	
2	移植水稻	0.2 kg/10a/植代後～移植7日前又は移植直後～ヒエ1.5葉期までただし、移植後30日まで/湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)		不浸透性手袋	不浸透性防除衣	マスク1	不浸透性手袋	0.2	0.8	2.3	-	

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL(mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL(mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

9 4. 登録番号24689：アピロファースト1キロ粒剤、登録番号24690：タクティクス1キロ粒剤（ピリフタリド1.2%・ベンゾピシクロン2.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24689
	種類・名称	ピリフタリド・ベンゾピシクロン粒剤(アピロファースト1キロ粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	2 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL (1)	%AAOEL (2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	直播水稻	1 kg/10a/湛水直播のは種直後～ $\text{R}^{\text{E}}=1.5$ 葉期 ただし、収穫90日前まで/湛水散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	
2	直播水稻	1 kg/10a/湛水直播のは種時/は種同時散布機で施用/3回	1	-	部会決定のとおり、調製時及び施用時の不浸透性手袋の着用を前提に暴露量の算出を省略した。										

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AOEL (mg/kg体重/日) × 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) ÷ 1000 ($\mu\text{g/mg}$) ÷ AAOEL (mg/kg体重) × 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

9 5. 登録番号24701：ウィードコアジャンボSD、登録番号24702：SDSウィードコアジャンボSD（フロルピラウキシフェンベンジル2.0%・ペノキススラム2.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24701
	種類・名称	フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキススラム・ベンゾピシクロン粒剤(ウィードコアジャンボSD)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後10日～収穫4葉期 ただし、収穫60日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

96. 登録番号24703：ウィードコア200SD粒剤、登録番号24704：SDSウィードコア200SD粒剤（フロルピラウキシフェンベンジル2.0%・ペノキスラム2.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24703
	種類・名称	フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキスラム・ベンゾピシクロン粒剤(ウィードコア200SD粒剤)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考				
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)		
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後10日～収穫前まで /湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							3.1	13.4	36.7	-	調製時、散布時:保護眼鏡

1): AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

97. 登録番号24705：ダクショット200SD粒剤（カフェンストール15.0%・フロルピラウキシフェンベンジル2.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24705
	種類・名称	カフェンストール・フロルピラウキシフェンベンジル・ベンゾピシクロン粒剤(ダクショット200SD粒剤) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考			
					調製時		散布時		反復 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)	急性 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)		%AOEL (1)	%AAOEL (2)	
					マスク	手袋	防護服	マスク						手袋
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後3日～ $\text{L}^{\circ}\text{E}3$ 葉期 ただし、移植後30日まで/湛水散布、湛水周縁散布、水口施用又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時、散布時:保護眼鏡
2	直播水稻	0.2 kg/10a/稲1葉期～ $\text{L}^{\circ}\text{E}3$ 葉期 ただし、収穫90日前まで/湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)						3.1	13.4	36.7	-	調製時、散布時:保護眼鏡

¹⁾: AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

98. 登録番号24706：ダクショットジャンボSD（カフェンストロール15.0%・フロルピラウキシフェンベンジル2.5%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24706
	種類・名称	カフェンストロール・フロルピラウキシフェンベンジル・ベンゾピシクロン粒剤(ダクショットジャンボSD)(除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	調製作業による暴露なし	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数 (倍)	経皮吸収率 (%)
製剤	1	-
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり						備考		
					調製時		散布時		反復	急性		%AOEL 1)	%AAOEL 2)
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)			
1	移植水稻	0.2 kg/10a/移植後3日～ $\text{L}^{\circ}\pm 3$ 葉期 ただし、移植後30日まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								
2	直播水稻	0.2 kg/10a/稲1葉期～ $\text{L}^{\circ}\pm 3$ 葉期 ただし、収穫90日前まで/水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。/3回	1	—	本剤は水溶性パック入り製剤に該当し、通常の使用方法では使用者への暴露のおそれがない。								

1): AOEL占有率 = 反復暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL (mg/kg 体重/日) \times 100

2): AAOEL占有率 = 急性暴露量 ($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000 ($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL (mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。

99. 登録番号24713：グッドラック150FG、登録番号24714：SDSグッドラック150FG（シクロピリモレート13.3%・トリアファモン3.3%・ベンゾピシクロン10.0%粒剤）

① 製剤情報	登録番号	24713
	種類・名称	シクロピリモレート・トリアファモン・ベンゾピシクロン粒剤(グッドラック150FG) (除草剤)
② 評価対象有効成分	ベンゾピシクロン	
③-1 AOEL	0.0084 (mg/kg体重/日)	
③-2 AAOEL	設定不要	
④ 有効成分濃度・含有率	10 %	
⑤ 製剤の形態(製剤/散布液)	製剤: 固体/散布時: 固体	
⑥ 調製時の予測式	固形剤(粉剤、微粒剤、粒剤等)	

【補助1】 農業使用者暴露量の試験成績について
デフォルト値を使用

【補助2】 面積について
デフォルト値を使用

⑭ 経皮吸収率	希釈倍数(倍)	経皮吸収率(%)
製剤	1	10
希釈液		

使用番号	⑦ 作物名	使用方法等 (投下量/使用時期/使用方法/評価に用いた使用回数)	希釈倍数	散布時の予測式	防護装備あり								備考		
					調製時		散布時		反復	急性	%AOEL 1)	%AAOEL 2)			
					マスク	手袋	防護服	マスク	手袋	($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日)				($\mu\text{g ai/kg}$ 体重)	
1	移植水稻	0.15 kg/10a/移植直後～ヒメ3.5葉期 ただし、移植後30日まで /湛水散布、湛水周縁散布又は無人航空機による散布/3回	1	固形剤(粒剤) 水稻(手散布)							2.3	10.1	27.5	-	

¹⁾: AOEL占有率=反復暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重/日) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AOEL(mg/kg 体重/日) \times 100

²⁾: AAOEL占有率=急性暴露量($\mu\text{g ai/kg}$ 体重) \div 1000($\mu\text{g/mg}$) \div AAOEL(mg/kg 体重) \times 100

なお、体重当たり暴露量の計算には国民の平均体重55.1 kgを用いている。